

小樽市観光客動態調査報告書

平成 27 年 3 月

小樽市産業港湾部観光振興室

《目 次》

1 小樽市観光客動態調査の方法と経過 …… 1

- (1) 小樽市観光客動態調査アンケートの実査 …………… 1
- (2) 小樽市観光客動態調査アンケート回収票の集計計算 …… 2
- (3) 実査に使用した調査票(直接面接法用) …………… 2
- (4) 実査経過 …………… 2
- アンケート用紙 …………… 3

2 小樽市観光客動態調査の結果 …………… 5

- (1) 年齢構成 …………… 5
- (2) 居住地構成 …………… 7
- (3) 来樽回数 …………… 9
- (4) 同行者 …………… 10
- (5) 旅行形態 …………… 11
- (6) 来樽目的 …………… 12
- (7) 来樽動機 …………… 14
- (8) 観光ゾーン …………… 16
- (9) 小樽訪問前後の立寄り観光地 …………… 18
- (10) 来樽時の利用交通手段 …………… 20
- (11) 市内での利用交通手段 …………… 21
- (12) 小樽での宿泊の有無 …………… 22
- (13) 小樽での滞在時間(日帰り客) …………… 24
- (14) 小樽の夜の観光 …………… 25
- (15) 土産品 …………… 27
- (16) 一人当たりの平均観光消費金額 …………… 30
- (17) 電子マネー利用 …………… 34
- (18) 小樽再訪の意思 …………… 35
- (19) 満足度 …………… 37
- (20) 小樽の旅行中で、最も印象に残っていること …………… 39
- (21) 小樽に対する感想・意見 …………… 40

3 観光総消費額 …………… 42

資料

- アンケート単純集計表 …………… 44

小樽市観光客動態調査概要

(調 査 名) 小樽市観光客動態調査

(目 的) 小樽市を訪れる観光客の動態や小樽に対する意向、消費金額の変化などを調査し、今後の観光施策推進のための基礎資料とすることを目的とする。

(調査方法) 市内7地区に区分し、調査員が直接観光客から内容を聞き取る方式。ただし、宿泊施設については、アンケート用紙を留め置きによる。

(調査地区) 祝津地区、運河地区、堺町地区、天狗山地区、小樽駅周辺地区、築港地区、朝里川温泉地区の7地区

(調査日程) 春季 平成25年 5月 3日 ～ 5月 6日
夏季 平成25年 8月 8日 ～ 8月11日
秋季 平成25年 10月17日 ～ 10月20日
冬季 平成26年 3月 6日 ～ 3月 9日

(調 査 員) 小樽おもてなしボランティアの会

(有効アンケート回答人数) 4, 743人
うち面接 4, 057人
留置 686人

1 小樽市観光客動態調査の方法と経過

(1) 小樽市観光客動態調査アンケートの実査

①アンケート実施計画・作業要領作成及び調査員

平成 20 年度小樽市観光客動態調査との比較分析を行う観点から、アンケート調査項目は、基本的に平成 20 年度調査を踏襲した。ただし、「市内 19 か所の観光施設」を「市内 7 か所の観光ゾーン」に変更するなど、調査項目を見直したため前回比較ができないものもある。

また、外国人を対象とした調査を小樽国際インフォメーションセンターにて、初めて実施した。

なお、アンケート調査実施における調査員については、直接雇用を行わず、「小樽おもてなしボランティアの会」に対して調査協力を依頼した。

②アンケート調査票の作成

直接面接法用(B4・片面)及び留置き法用(A4・両面)の2種類のアンケート調査票を作成したが、2種類の調査票の質問項目は全く同じものである。

③アンケート調査の実施方法

・調査対象者の抽出

市内調査対象観光地を訪問する市外からの観光客を対象とした。対象者は現地で抽出したが、等時間間隔抽出法^{注)}などにより訪問観光客の実態に即したサンプリングに努め、特定の年代や性別、旅行形態等に偏らないように配慮した。また、調査を依頼する「小樽おもてなしボランティアの会」へは、アンケート実査に関する説明会を行い、調査要領を徹底した。調査対象観光地は、祝津地区、運河地区、堺町地区、天狗山地区、小樽駅周辺地区、築港地区、朝里川温泉地区の7地区で、平成 20 年度調査の「寿司屋通り地区」を「小樽駅周辺地区」に変更した。

なお、平成 20 年度調査は 9 件の宿泊施設に留置き法で実施し、今回は、11 件の宿泊施設に対して留置き法による調査協力を依頼した。

注) 数多くの母集団の中から標本を取り出す方法であり、今回の調査では、1 年の標本から、春夏秋冬の各 4 日間を抽出した。

・調査方法

直接面接法：調査員が調査観光地点で抽出した観光客から、アンケート票に基づき面談で聞き取りし、調査員が調査票に記入した。

留置き法：宿泊施設の協力の下、フロントでチェックイン時に宿泊客に配布し、宿泊客が自ら質問に答え調査票に記入した後、チェックアウト時に調査票を回収した。また、外国人を対象とする調査を実施するため、小樽国際インフォメーションセンターに調査票を配置し、収集した。

④平成 25 年度、春季、夏季、秋季、冬季アンケートの実施

	春季	夏季	秋季	冬季
期間	平成25年 5月3日～6日	平成25年 8月8日～11日	平成25年 10月17日～20日	平成26年 3月6日～9日
場所	市内7地区			
回答人数	1,421人	1,120人	1,250人	952人

(2) 小樽市観光客動態調査アンケート回収票の集計計算

①集計実施計画・作業要領作成及び作業員雇用

②集計計算プログラム作成

計算ソフト・エクセルにより入力フォーマットの作成と計算手法の設定を行った。

③データ入力作業の実施

パソコン上の入力フォーマットに従い、回収調査票の記入内容を入力して、データチェックを行い、春季・夏季・秋季・冬季のソースデータを編集した。

④図表様式作成と一次集計の実施

必要な図表様式(すなわち出力様式)を設定し、計算ソフト・エクセル上において集計計算(単純集計及びクロス集計)を実施し、それらの結果から各種図表を作成した。

⑤集計方法

表示した数値の単位未満は、四捨五入を原則としているため、総数とその内訳の計が一致しない場合がある。

(3) 実査に使用した調査票(直接面接法用) ※次頁参照

(4) 実査経過

(1-表1)「小樽市観光客動態調査アンケート」有効回収票数(単位:人)

		調査地区															
		祝津地区		運河地区		堺町地区		天狗山地区		小樽駅 周辺地区		築港地区		朝里川 温泉地区		合計	
調査 時期	手 法																
春季	面接法	257	(2)	349	(2)	84	(-)	72	(3)	326	(2)	130	(-)	-	(-)	1,218	(9)
	留置法	11	(-)	91	(12)	-	(-)	-	(-)	57	(-)	21	(-)	23	(-)	203	(12)
	合 計	268	(2)	440	(14)	84	(-)	72	(3)	383	(2)	151	(-)	23	(-)	1,421	(21)
夏季	面接法	144	(-)	261	(2)	152	(-)	95	(2)	224	(6)	68	(-)	8	(-)	952	(10)
	留置法	14	(-)	89	(20)	-	(-)	-	(-)	46	(-)	10	(-)	9	(-)	168	(20)
	合 計	158	(-)	350	(22)	152	(-)	95	(2)	270	(6)	78	(-)	17	(-)	1,120	(30)
秋季	面接法	111	(-)	252	(6)	273	(2)	116	(2)	203	(1)	60	(-)	64	(-)	1,079	(11)
	留置法	41	(-)	63	(18)	-	(-)	-	(-)	52	(-)	8	(-)	7	(-)	171	(18)
	合 計	152	(-)	315	(24)	273	(2)	116	(2)	255	(1)	68	(-)	71	(-)	1,250	(29)
冬季	面接法	86	(-)	224	(4)	212	(1)	1	(-)	216	(1)	69	(-)	-	(-)	808	(6)
	留置法	6	(-)	66	(19)	-	(-)	-	(-)	47	(1)	17	(-)	8	(-)	144	(20)
	合 計	92	(-)	290	(23)	212	(1)	1	(-)	263	(2)	86	(-)	8	(-)	952	(26)
合計	面接法	598	(2)	1,086	(14)	721	(3)	284	(7)	969	(10)	327	(-)	72	(-)	4,057	(36)
	留置法	72	(-)	309	(69)	-	(-)	-	(-)	202	(1)	56	(-)	47	(-)	686	(70)
	合 計	670	(2)	1,395	(83)	721	(3)	284	(7)	1,171	(11)	383	(-)	119	(-)	4,743	(106)

注) ()内は外国人の内数

参考: 平成20年度調査

調査地区	祝津 地区	運河 地区	堺町 地区	天狗山 地区	寿司屋 通り 地区	ぱるて 築港 地区	朝里川 温泉 地区	合計
合計	501 -	1,000 -	622 -	246 -	366 -	535 -	126 -	3,396 -

この調査は、小樽市が今後の観光振興施策の参考とするため、小樽市へいらっしゃった観光客の方を対象として実施するアンケート調査です。このアンケート結果については、調査目的以外には使用いたしませんので、是非とも御協力いただき、御回答をお願いいたします。御回答は、該当項目に丸印を付けてください。

【問合せ先】 小樽市産業港湾部観光振興室 TEL：0134-32-4111（内）451

●あなたのプロフィールを教えてください。

問1 性別

1. 男性 2. 女性

問2 年齢

1. 10代 2. 20代 3. 30代
4. 40代 5. 50代 6. 60代
7. 70代以上

問3 お住まい

1. 道外（ ）都・府・県
2. 道内（ ）市・町・村

●今回の旅行について教えてください。

問4 小樽においでになったのは、何回目ですか？

1. 初めて 2. 2回目
3. 3回目 4. 4回目以上

問5 どなたと何人でおいでになりましたか？

1. 一人 2. 夫婦・カップル
3. 家族・親戚 4. 友人
5. 職場や地域の仲間
6. その他（ ）

※あなたを含んだ総人数 → （ ）人

問6 旅行形態は、どれですか？

1. 個人旅行（旅行代理店等を利用していない。）
2. 旅行代理店等のフリープラン
3. ルートの決まった旅行代理店等のパッケージプラン
4. 職場などの団体旅行
5. その他（ ）

問7 旅行目的は、どれですか？（複数回答可）

1. 運河と歴史的建造物
2. 文学・美術
3. 自然
4. ガラス・オルゴール
5. 食べ物（鮭、スイーツなど）
6. 温泉
7. マリンレジャー（水族館を含む。）
8. ウィンタースポーツ
9. イベント、お祭り
10. その他（ ）

問8 小樽を選ばれた観光情報の入手先は、どれですか？（複数回答可）

1. ガイドブック・パンフレット・ポスター
2. 新聞・雑誌等
3. テレビ・ラジオ
4. 口コミ
5. インターネット・ホームページ（携帯電話を含む。）
6. SNS（Facebook、Twitter、mixi など）
7. 以前に来た時の体験・感想
8. その他（ ）

問9 小樽での宿泊日数、若しくは滞在時間は、どの程度を予定されていますか？

1. 日帰り（滞在時間： 時間）
※小樽以外で宿泊（宿泊地： ）
2. 小樽に1泊
3. 小樽に2泊
4. 小樽に3泊以上（宿泊日数： 日）

●今回の旅行中の行動について教えてください。

問10 訪問される観光地は、どこですか？

1. 小樽の前に立ち寄った観光地
（地名： ）
2. 小樽の後に立ち寄る予定の観光地
（地名： ）
3. どこにも立ち寄らない

問11 小樽で立ち寄る観光ゾーンを教えてください。

1. 祝津・オタモイ地区
2. 小樽駅周辺地区
3. 運河（浅草橋街園）周辺地区
4. 堺町周辺地区
5. 築港周辺地区
6. 天狗山地区
7. 朝里川温泉地区

問 17 旅行中にあなたが小樽市内でお使いになった費用ははいくらですか？

1. JR
2. フェリー
3. 路線バス（都市間高速バスを含む。）
4. 定期観光バス
5. 貸切バス
6. タクシー
7. レンタカー
8. 自家用車・バイク
9. その他（ ）

問 13 小樽市内で御利用になる主な交通機関はどれ
ですか？（複数回答可）

1. 路線バス（都市間高速バスを含む。）
2. 定期観光バス
3. 貸切バス
4. 観光タクシー
5. 一般タクシー
6. JR
7. 自家用車・バイク
8. レンタカー
9. 貸し自転車
10. 徒歩
11. その他（ ）

問 14 どの様な夜の観光を小樽でされましたか？
(複数回答可)

1. 街なか散策（ライトアップ施設を含む。）
2. 運河散策
3. 夜景観賞（場所： ）
4. 飲食店・居酒屋など
5. その他（ ）
6. 夜の観光はしない

問 15 小樽のお土産は、何をお買い求めですか？
(複数回答可)

1. ガラス工芸品
2. オルゴール製品
3. 装飾品・木工品
4. 海産物・珍味・加工品
5. 菓子類
6. 地酒・ワイン・ビール
7. その他（ ）

●今回の旅行予算などについて、教えてください。

問 16 (問 6 で選択肢 2、3 を選んだ方に質問です。)
旅行代理店へお支払いになった料金は、おいくらですか？
1 人あたり 約 (円)

- | | |
|-----------------|----|
| ①宿泊費（ | 円） |
| ②交通費（ | 円） |
| ③土産品購入費（ | 円） |
| ④飲食費（ | 円） |
| うち昼食代金（ | 円） |
| うち夕食等代金（ | 円） |
| ⑤入場料・施設使用料（ | 円） |
| ⑥日用品・雑貨等（ | 円） |
| ⑦ゴルフ・スキー、制作体験料金 | |
| （ | 円） |
| ⑧その他の支出（ | 円） |
| （内容： | 円） |

問 18 旅行費用のお支払いに、小樽市内で電子マネーをお使いになりましたか？

1. 使った 2. 使っていない

● 今回の小樽旅行について、満足度を教えてください。

問 19 小樽に対する満足度は、どの程度でしたか？

1. 非常に満足
2. やや満足
3. どちらともいえない
4. やや不満
5. 非常に不満

問 20 今後、また小樽へ来たいと思いますか？

1. 来たい
2. 来たくない
3. わからない

問 21 今回の小樽の旅行中で、最も印象に残っていることは何ですか？（自由記述）

--

問 22 小樽についての御意見・御感想等を御自由にお聞かせください。(自由記述)

--

※ アンケートの質問は以上です。御協力をいただきありがとうございました。

2 小樽市観光客動態調査の結果

(1) 年齢構成

①男女別

男女別年齢構成では、男性は40代が19.3%と最も多く、次いで30代が19.0%、20代が18.8%となり、20～40代で男性全体の半数を超える結果となった。女性は、20代が25.9%と最も多く、次いで40代が19.2%、30代が19.0%となり、20～40代で女性全体の6割を超える結果となった。平成20年度調査と年齢構成を比べると、男性は10代が3.9ポイント、40代が3.0ポイント増加しているのに対し、50代が3.8ポイント、30代が3.0ポイント減少した。女性は10代が4.2ポイント、40代は4.1ポイント増加しているのに対し、60代が4.8ポイント減少した。

(2-表1-1) 男女別の年齢構成の内訳

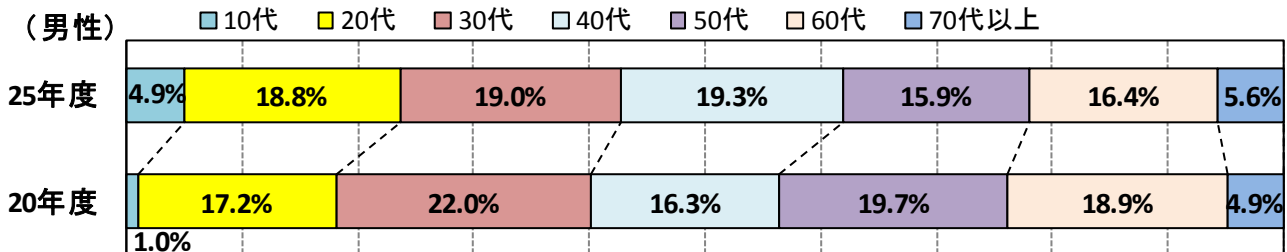
(単位:人)

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計	構成比
平成25年度	男性	103	392	395	402	332	342	117	2,083	44.4%
	女性	169	674	496	500	415	255	98	2,607	55.6%
	合計	272	1,066	891	902	747	597	215	4,690	100.0%
平成20年度	男性	18	305	389	288	349	335	86	1,770	52.5%
	女性	37	421	332	242	278	234	57	1,601	47.5%
	合計	55	726	721	530	627	569	143	3,371	100.0%

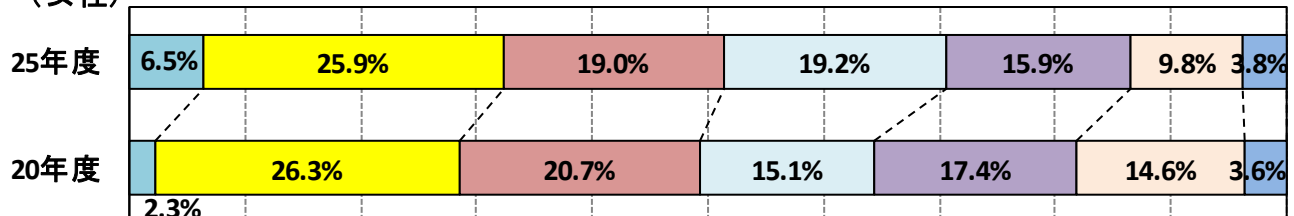
注) 数字は、無回答を除く。

(2-図1-1) 男女別の年齢構成の内訳

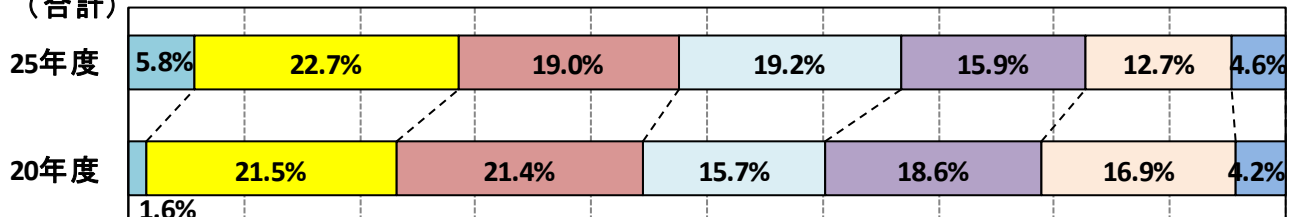
(男性)



(女性)



(合計)



②季節別

季節別年齢構成では、春季は20代が24.2%と最も多く、次いで30代が23.8%、40代が20.4%となり、夏季は40代が23.6%と最も多く、次いで20代が19.7%、30代が18.7%となり、秋季は60代が20.2%と最も多く、次いで20代が18.0%、50代17.4%となり、冬季は20代が30.3%と最も多く、次いで50代が18.2%、40代が17.7%という結果となった。平成20年度調査と比べると、40代までの割合が春季・夏季・冬季は増加しているが、秋季のみ50代以上の割合が増加した。

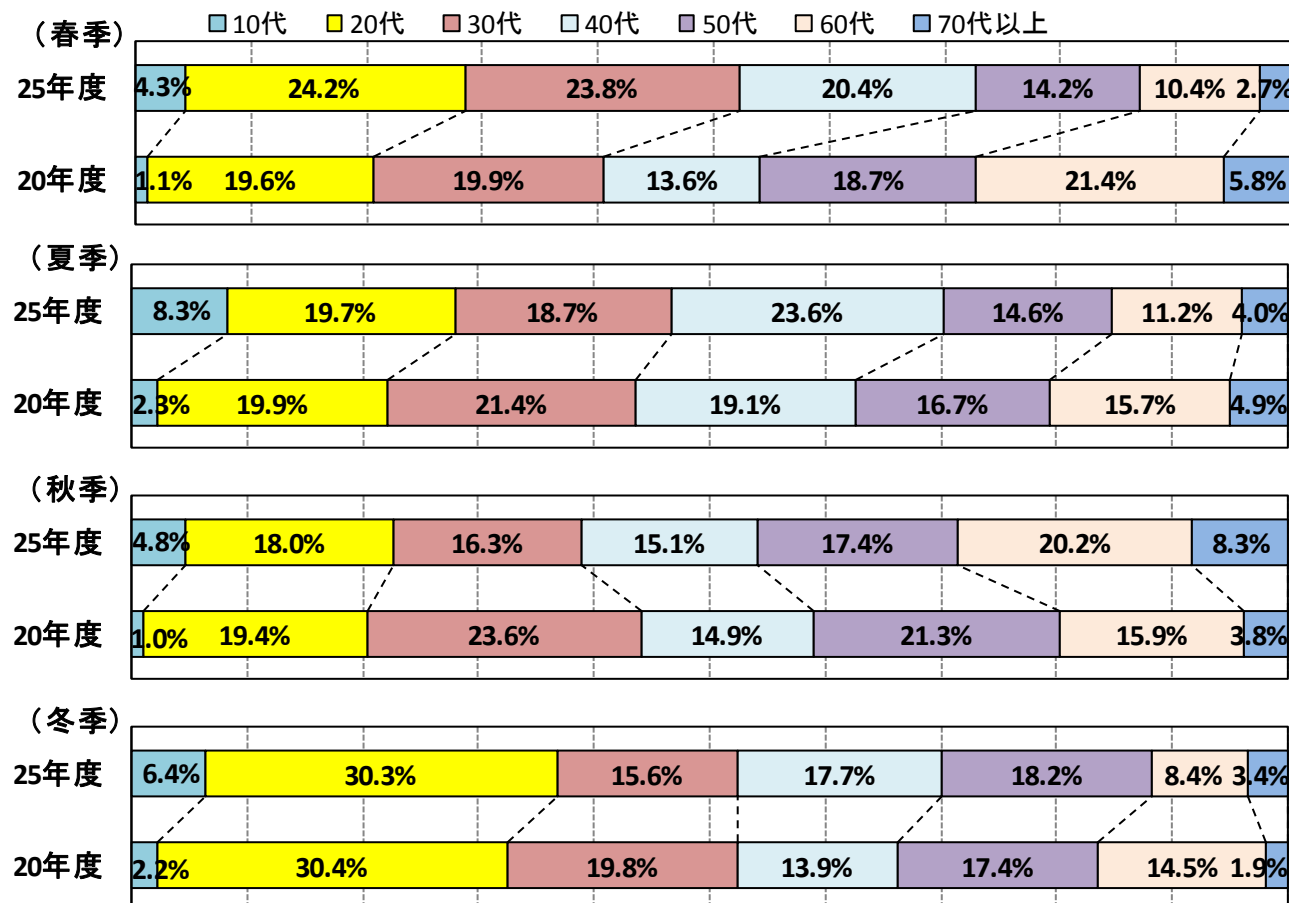
(2-表1-2) 季節別の年齢構成の内訳

(単位:人)

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
平成25年度	春季	60	340	334	286	200	146	38	1,404
	夏季	92	219	208	262	162	125	44	1,112
	秋季	59	223	202	188	216	251	103	1,242
	冬季	61	287	148	167	172	79	32	946
	合計	272	1,069	892	903	750	601	217	4,704
平成20年度	春季	8	149	151	103	142	163	44	760
	夏季	25	214	230	205	180	169	53	1,076
	秋季	10	185	225	142	203	152	36	953
	冬季	13	180	117	82	103	86	11	592
	合計	56	728	723	532	628	570	144	3,381

注) 数字は、無回答を除く。

(2-図1-2) 季節別の年齢構成の内訳



(2) 居住地構成

①道内外別

居住地構成を、道内外別でみると、道内客が38.9%、道外客が61.1%であった。季節別にみると、道内客は春季が46.3%と最も多く、道外客は、冬季が71.8%と最も高い結果となった。

(2-表2-1) 季節別道内外別の内訳

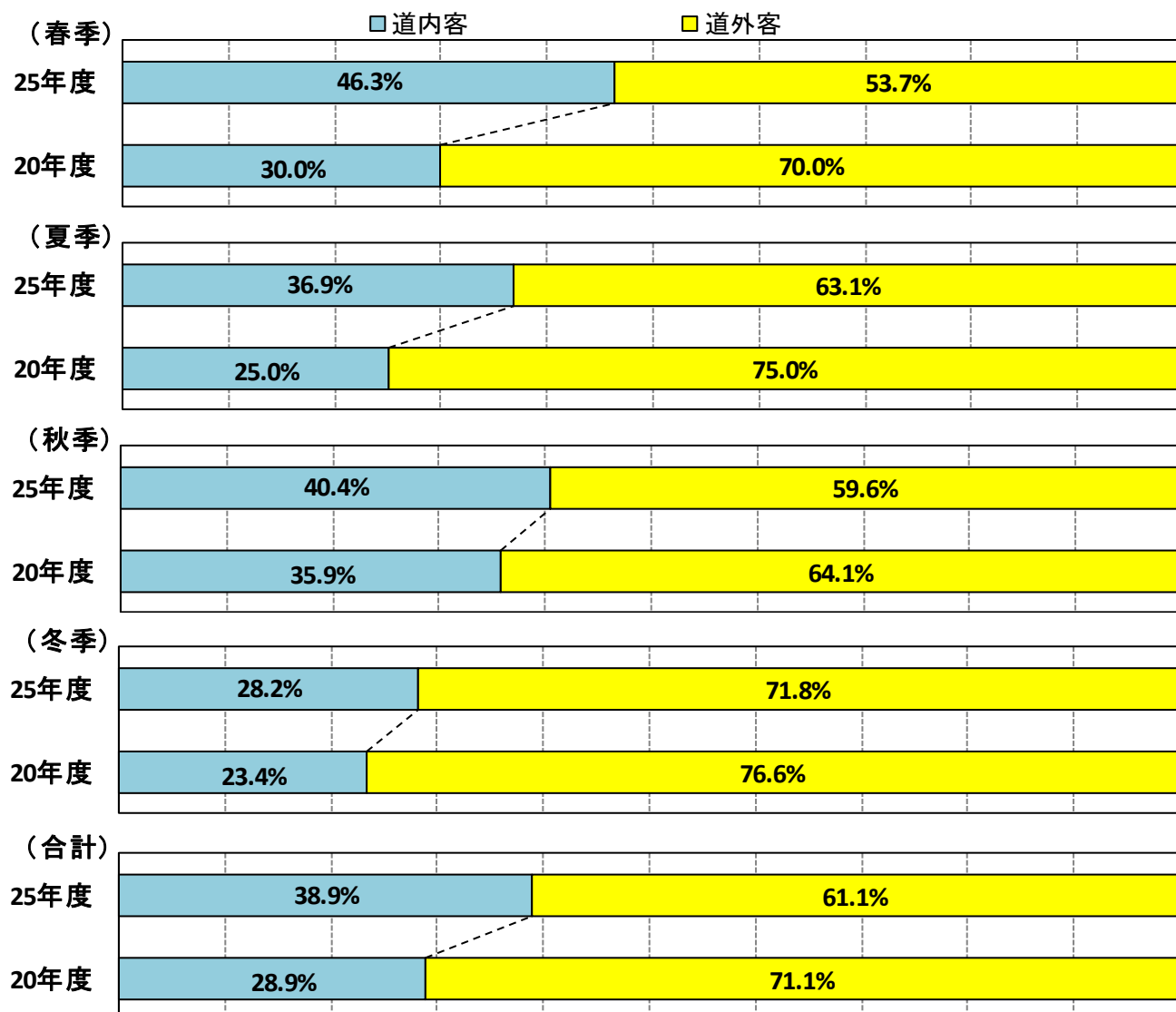
(単位:人)

	平成25年度			平成20年度		
	道内客	道外客	合計	道内客	道外客	合計
春季	644	747	1,391	228	532	760
夏季	401	685	1,086	267	800	1,067
秋季	491	723	1,214	342	611	953
冬季	260	663	923	138	453	591
合計	1,796	2,818	4,614	975	2,396	3,371

注1) 数字は、無回答を除く。

注2) 外国人は除く。

(2-図2-1) 季節別道内外別の内訳



②道内容の圏域別

居住地構成を、道内容の圏域別でみると、札幌が51.6%、札幌を除く道央圏が26.9%で、道央圏全体で78.5%を占めている。平成20年度調査と構成割合を比べると、増加したのは札幌を除く道央圏が3.4ポイント、道北圏が2.4ポイントなど4地域で増加したのに対し、減少したのは札幌が7.0ポイント、オホーツク圏が1.1ポイントなど3地域で減少した。

(2-表2-2) 道内容の圏域別内訳

(単位:人)

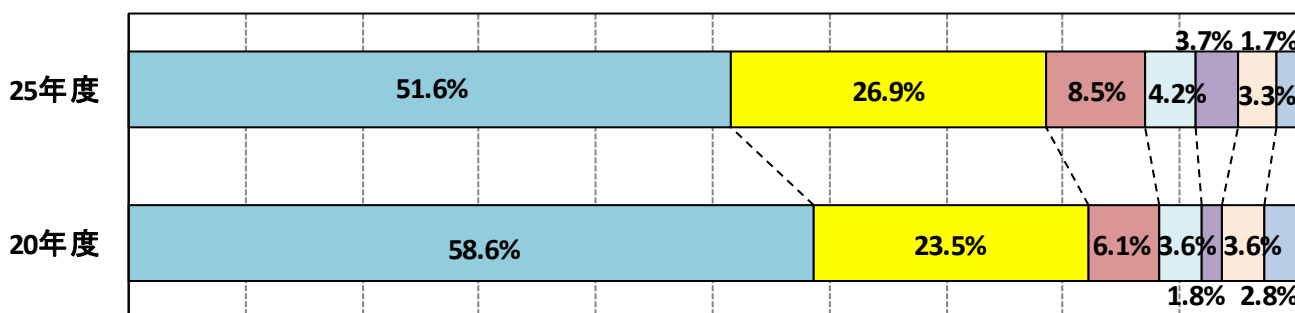
	札幌	道央 ^{注2)}	道北	道南	釧路・根室	十勝	オホーツク	合計
平成25年度	868	453	143	71	62	56	28	1,681
平成20年度	568	228	59	35	17	35	27	969

注1) 数字は、無回答を除く。

注2) 道央は、札幌を除く。

(2-図2-2) 道内容の圏域別内訳

■札幌 ■道央 ■道北 □道南 ■釧路・根室 □十勝 ■オホーツク



③道外客の地方別

居住地構成を、道外客の地方別でみると、東京を除く関東地方が29.1%、東京が18.9%で、関東地方全体で48.0%を占める結果となった。平成20年度調査と構成割合を比べると、増加したのは東北が2.1ポイント、近畿が1.9ポイントなど3地域で増加したのに対し、減少したのは中国が1.5ポイント、東京が1.2ポイントなど5地域で減少した。

(2-表2-3) 道外客の地方別内訳

(単位:人)

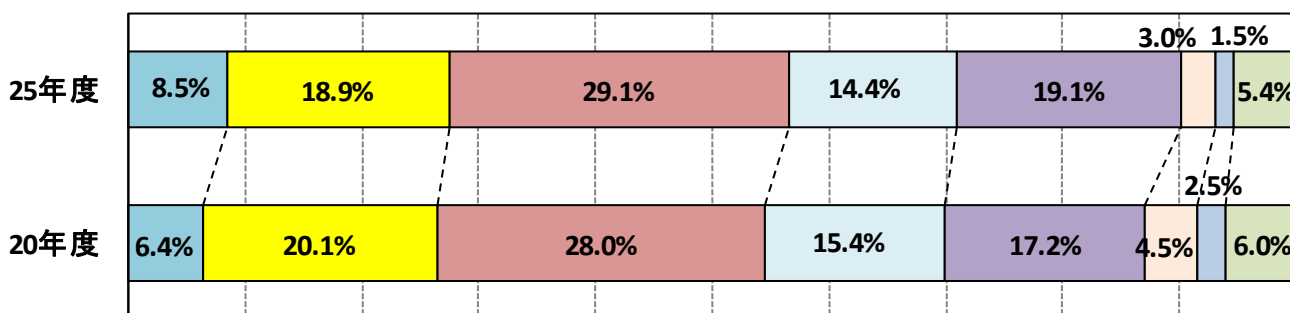
	東北	東京	関東 ^{注2)}	中部	近畿	中国	四国	九州	合計
平成25年度	234	518	798	393	524	83	41	147	2,738
平成20年度	153	482	672	369	411	107	59	143	2,396

注1) 数字は、無回答を除く。

注2) 関東は、東京を除く。

(2-図2-3) 道外客の地方別内訳

■東北 ■東京 ■関東 ■中部 ■近畿 □中国 ■四国 ■九州



(3) 来樽回数

来樽回数別では、道内客は「4 回目以上」が 73.4%を占め、2 回目以上のリピーター率は 93.2%を占める結果となった。道外客でも 2 回目以上のリピーター率は半数を超える結果となった。今回始めて調査した外国人は、全体の 72.8%が「はじめて」という結果となった。平成 20 年度調査と比較すると、道内客は、リピーター率がわずかに 0.5 ポイント減少したが、道外客は 0.7 ポイント増加した。

(2-表3-1) 道内外・外国人別の来樽観光回数の内訳

(単位:人)

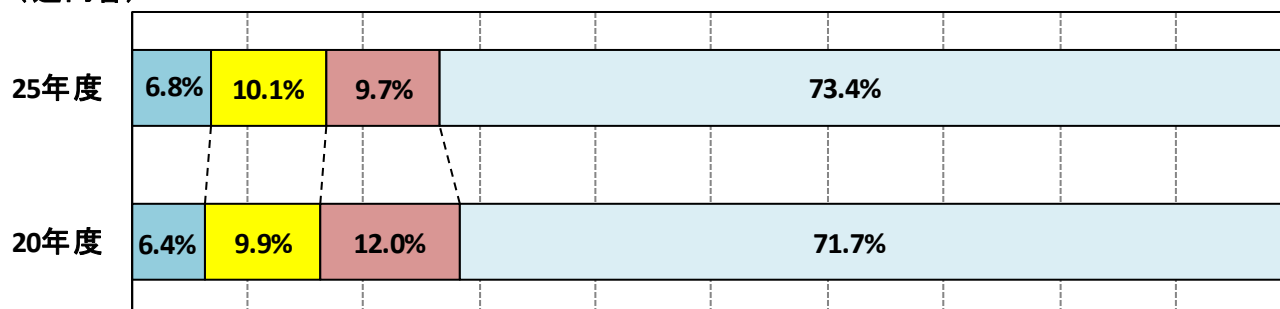
		はじめて	2回目	3回目	4回目以上	合計
平成 25年度	道内客	121	177	171	1,292	1,761
	道外客	1,348	693	296	470	2,807
	外国人	75	14	7	7	103
	合計	1,544	884	474	1,769	4,671
平成 20年度	道内客	62	96	116	695	969
	道外客	1,162	644	313	265	2,384
	合計	1,224	740	429	960	3,353

注) 数字は、無回答を除く。

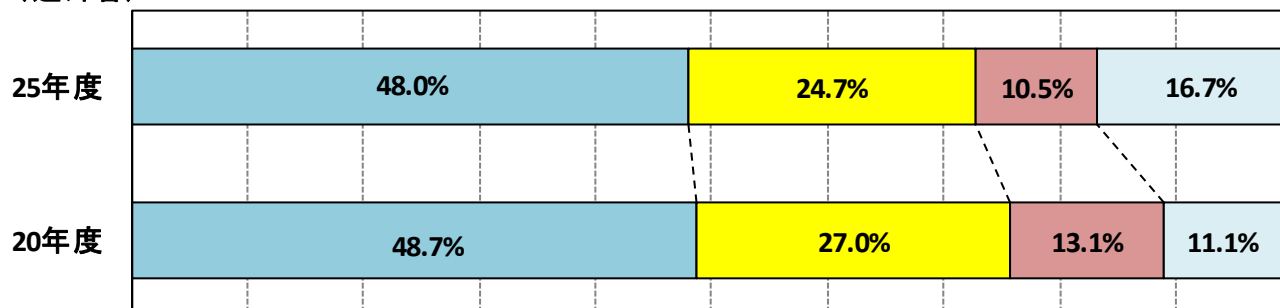
(2-図3-1) 道内外・外国人別の来樽観光回数の内訳

(道内客)

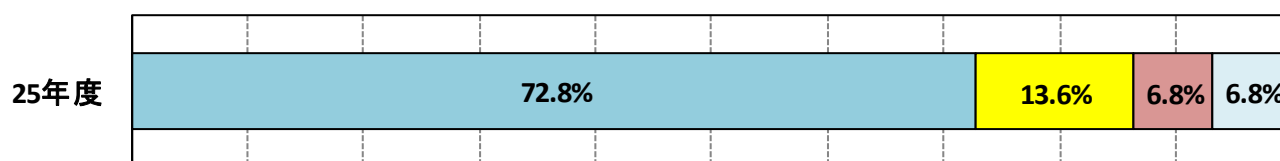
■ はじめて ■ 2回目 ■ 3回目 ■ 4回目以上



(道外客)



(外国人)



(4) 同行者

同行者構成では、道内客は、「家族・親戚」が43.3%で最も多く、次いで「夫婦・カップル」の25.3%、「友人」の21.2%の順に多かった。道外客は、「夫婦・カップル」が32.2%で最も多く、次いで「家族・親戚」が31.0%、「友人」が21.4%であった。外国人は、「友人」が31.1%と最も多く、次いで「一人」が24.3%、「家族・親戚」が23.3%と日本人とは異なる結果となった。

平成20年度調査と構成割合を比べると、道内客・道外客ともに「一人」、「夫婦・カップル」、「家族・親戚」が増加したのに対し、「友人」が減少した。

(2-表4-1) 道内外・外国人別の同行者構成の内訳

(単位:人)

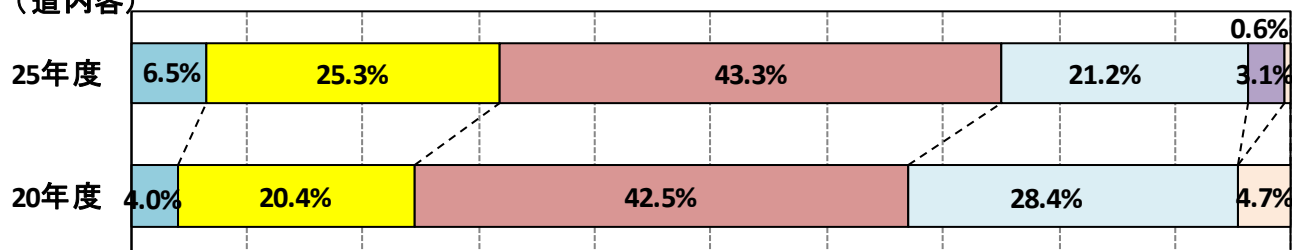
		一人	夫婦・カップル	家族・親戚	友人	職場や地域の仲間	その他	合計
平成 25年度	道内客	116	450	772	378	56	10	1,782
	道外客	232	906	871	601	165	36	2,811
	外国人	25	18	24	32	2	2	103
	合計	373	1,374	1,667	1,011	223	48	4,696
平成 20年度	道内客	39	197	411	275	—	45	967
	道外客	159	658	661	696	—	197	2,371
	合計	198	855	1,072	971	—	242	3,338

注1) 数字は、無回答を除く。

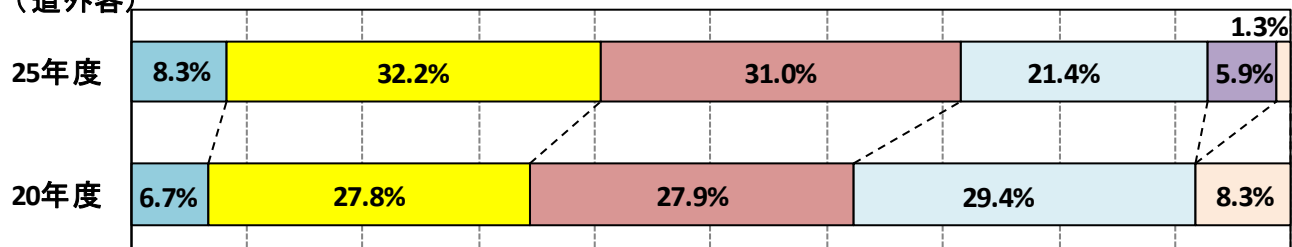
注2) 「職場や地域の仲間」は、平成25年度調査からの新調査項目である。

(2-図4-1) 道内外・外国人別の同行者構成の内訳

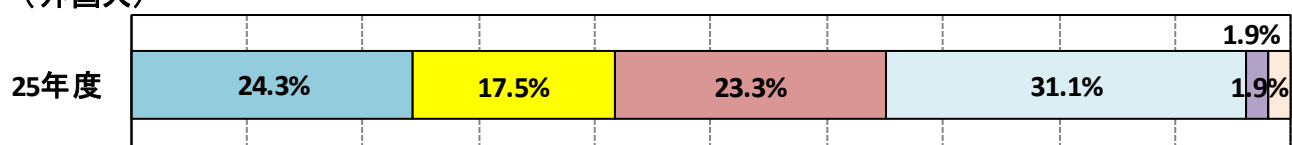
(道内客) □一人 □夫婦・カップル □家族・親戚 □友人 □職場や地域の仲間 □その他



(道外客)



(外国人)



(5) 旅行形態

旅行形態構成では、道内客は、「個人旅行」が、82.1%と圧倒的に多かった。道外客は、「個人旅行」が57.1%で半分を超え、次いで「フリープラン」が32.2%と多かった。外国人は、「個人旅行」が91.1%と圧倒的に多い結果となった。平成20年度調査と比べると、道内客の「個人旅行」が9.8ポイント減少したのに対し、道外客は「個人旅行」が13.8ポイント増加した結果となった。

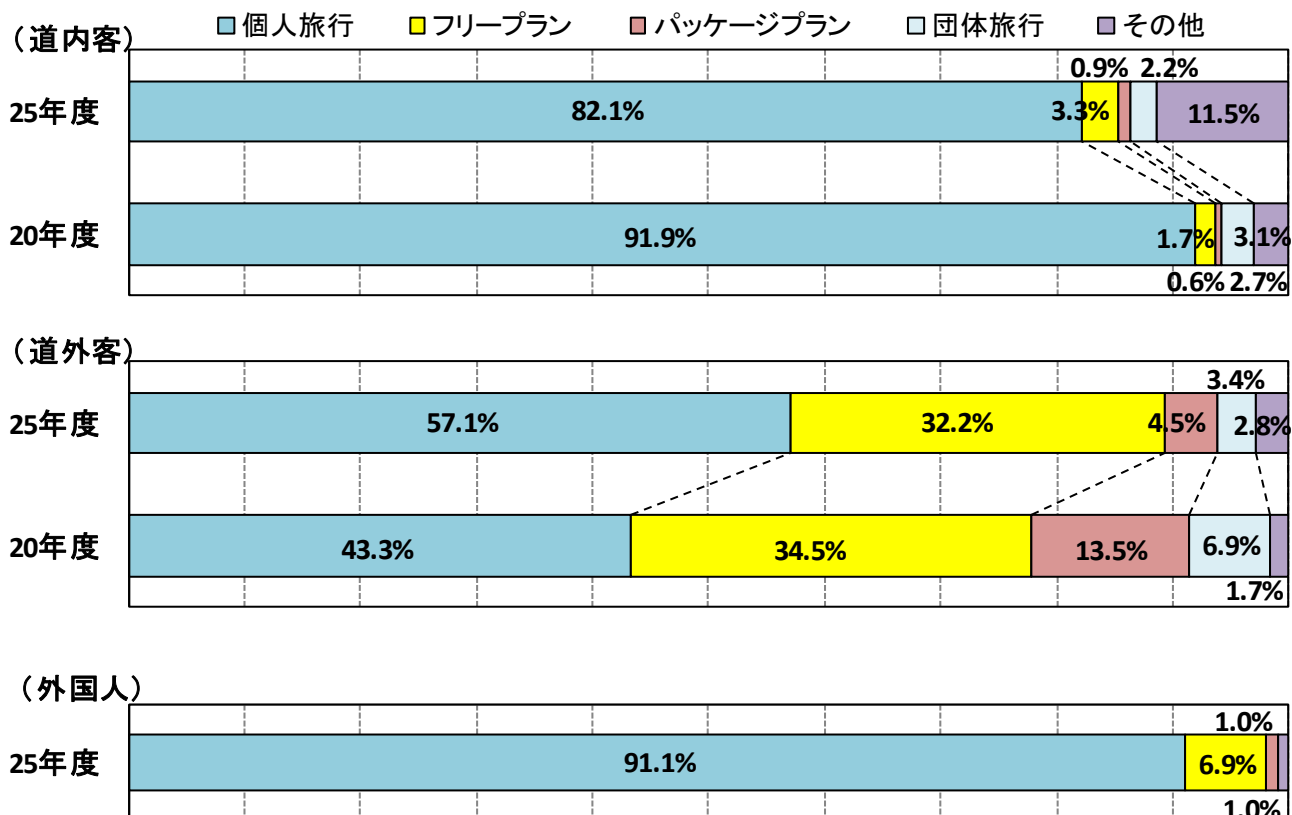
(2-表5-1) 道内外・外国人別の旅行形態構成の内訳

(単位:人)

		個人旅行	旅行代理店等のフリープラン	旅行代理店等のパッケージプラン	職場等の団体旅行	その他	合計
平成25年度	道内客	1,424	57	16	39	199	1,735
	道外客	1,598	900	125	96	78	2,797
	外国人	92	7	1	-	1	101
	合計	3,114	964	142	135	278	4,633
平成20年度	道内客	886	16	6	26	30	964
	道外客	1,031	822	322	165	40	2,380
	合計	1,917	838	328	191	70	3,344

注) 数字は、無回答を除く。

(2-図5-1) 道内外・外国人別の旅行形態構成の内訳



(6) 来構目的

来構目的をみると、道内客は、「食べ物」が27.0%と最も多く、次いで「運河と歴史的建造物」が17.9%、「ガラス・オルゴール」が16.3%と多かった。道外客は、「食べ物」が、30.5%と最も多く、次いで「運河と歴史的建造物」が29.4%、「ガラス・オルゴール」が16.1%と多かった。外国人は「運河と歴史的建造物」が27.9%と最も多く、次いで「食べ物」が19.8%、「ガラス・オルゴール」が17.1%と多かった。平成20年度調査と比べると、「食べ物」が道内客・道外客ともに割合が増加し、道外客では「食べ物」が「運河と歴史的建造物」を上回った。

訪問回数別で見ると、はじめての来訪では、「運河と歴史的景観」30.1%、「食べ物」29.1%、「ガラス・オルゴール」16.5%の上位3項目で約75%を占めている。しかし、来訪回数を重ねるに従い、「食べ物」はほぼ同程度で推移しているが、「運河と歴史的景観」「ガラス・オルゴール」の割合は減少している。

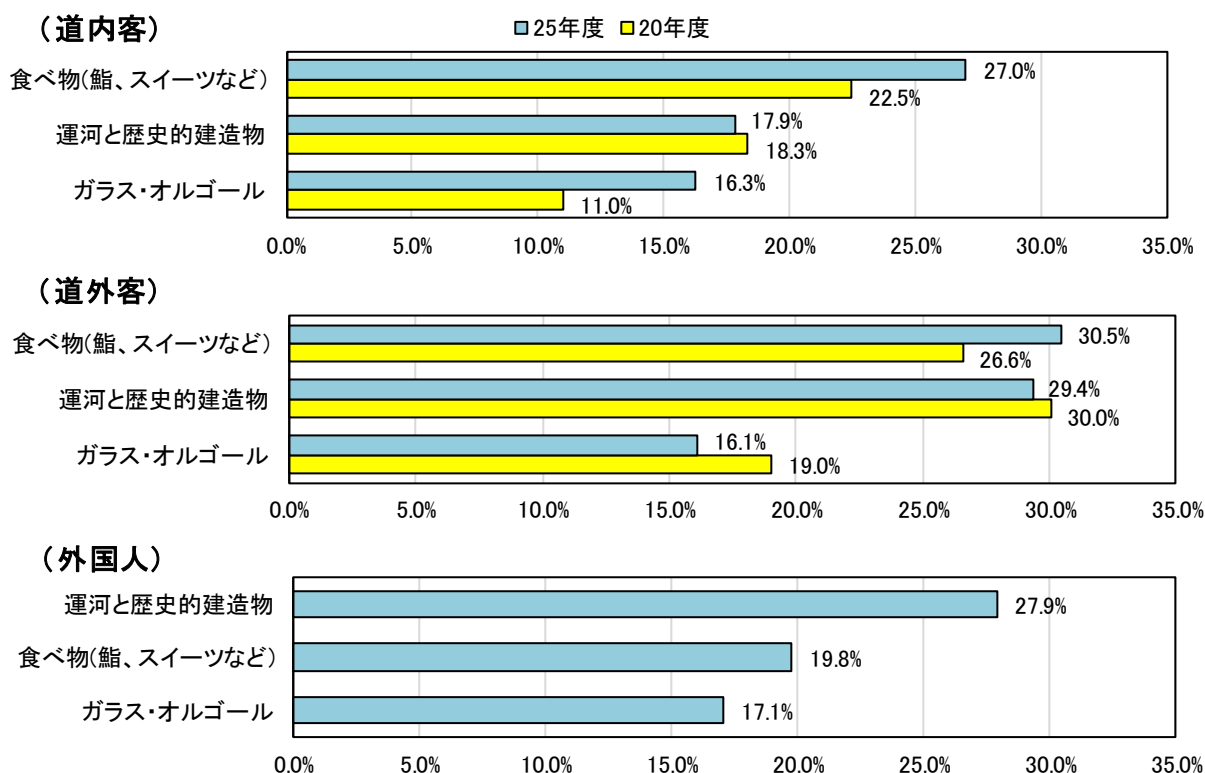
(2-表6-1) 道内外・外国人別来構目的の内訳 <複数回答>

(平成25年度)					(平成20年度)				
	道内客	道外客	外国人	合計		道内客	道外客	合計	
運河と歴史的建造物	570	1,690	72	2,332	運河と歴史的景観	307	1,595	1,902	
文学・美術	88	114	10	212	異国情緒	98	557	655	
自然	274	512	43	829	文学・美術	65	75	140	
ガラス・オルゴール	520	927	44	1,491	ガラス・オルゴール	184	1,011	1,195	
食べ物(鮭、スイーツなど)	862	1,752	51	2,665	食べ物	376	1,411	1,787	
温泉	217	314	20	551	温泉	107	127	234	
マリンレジャー(水族館を含む。)	349	73	-	422	自然	173	173	346	
ウィンタースポーツ	7	65	5	77	マリンレジャー・スキー	23	27	50	
イベント、お祭り	63	69	11	143	ツアーに組み込まれていたため	3	131	134	
その他	240	237	2	479	その他	338	204	542	
合計	3,190	5,753	258	9,201	合計	1,674	5,311	6,985	

注)数字は、無回答を除く。

注)数字は、無回答を除く。

(2-図6-1) 道内外・外国人別来構目的の内訳(上位3位) <複数回答>



(2-表6-2)道内外・外国人別訪問回数別の来樺目的〈複数回答〉

(道内容)

	はじめて		2回目		3回目		4回目以上		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
運河と歴史的景観	61	24.7%	66	19.4%	68	20.1%	367	16.6%	562	17.9%
文学・美術	7	2.8%	10	2.9%	10	3.0%	59	2.7%	86	2.7%
自然	20	8.1%	26	7.6%	32	9.5%	189	8.5%	267	8.5%
ガラス・オルゴール	52	21.1%	64	18.8%	67	19.8%	331	14.9%	514	16.4%
食べ物(鮭・スイーツなど)	63	25.5%	94	27.6%	88	26.0%	607	27.4%	852	27.1%
温泉	15	6.1%	22	6.5%	24	7.1%	151	6.8%	212	6.7%
マリンレジャー(水族館を含む。)	18	7.3%	44	12.9%	40	11.8%	245	11.1%	347	11.0%
ウィンタースポーツ	—	—	1	0.3%	—	—	6	0.3%	7	0.2%
イベント、お祭り	3	1.2%	5	1.5%	1	0.3%	53	2.4%	62	2.0%
その他	8	3.2%	9	2.6%	8	2.4%	207	9.3%	232	7.4%
合計	247	100.0%	341	100.0%	338	100.0%	2,215	100.0%	3,141	100.0%

(道外客)

	はじめて		2回目		3回目		4回目以上		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
運河と歴史的景観	857	30.6%	428	30.2%	178	29.6%	221	23.9%	1,684	29.4%
文学・美術	58	2.1%	23	1.6%	15	2.5%	17	1.8%	113	2.0%
自然	284	10.2%	96	6.8%	52	8.6%	78	8.5%	510	8.9%
ガラス・オルゴール	450	16.1%	237	16.7%	97	16.1%	142	15.4%	926	16.1%
食べ物(鮭・スイーツなど)	838	30.0%	455	32.2%	179	29.7%	276	29.9%	1,748	30.5%
温泉	131	4.7%	78	5.5%	42	7.0%	62	6.7%	313	5.5%
マリンレジャー(水族館を含む。)	31	1.1%	17	1.2%	7	1.2%	18	2.0%	73	1.3%
ウィンタースポーツ	26	0.9%	14	1.0%	6	1.0%	19	2.1%	65	1.1%
イベント、お祭り	38	1.4%	16	1.1%	6	1.0%	9	1.0%	69	1.2%
その他	84	3.0%	51	3.6%	20	3.3%	81	8.8%	236	4.1%
合計	2,797	100.0%	1,415	100.0%	602	100.0%	923	100.0%	5,737	100.0%

(外国人)

	はじめて		2回目		3回目		4回目以上		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
運河と歴史的景観	54	28.9%	6	21.4%	7	29.2%	4	22.2%	71	27.6%
文学・美術	8	4.3%	1	3.6%	—	—	1	5.6%	10	3.9%
自然	32	17.1%	5	17.9%	2	8.3%	4	22.2%	43	16.7%
ガラス・オルゴール	30	16.0%	7	25.0%	3	12.5%	4	22.2%	44	17.1%
食べ物(鮭・スイーツなど)	38	20.3%	3	10.7%	5	20.8%	5	27.8%	51	19.8%
温泉	13	7.0%	3	10.7%	4	16.7%	—	—	20	7.8%
マリンレジャー(水族館を含む。)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ウィンタースポーツ	3	1.6%	—	—	2	8.3%	—	—	5	1.9%
イベント、お祭り	7	3.7%	3	10.7%	1	4.2%	—	—	11	4.3%
その他	2	1.1%	—	—	—	—	—	—	2	0.8%
合計	187	100.0%	28	100.0%	24	100.0%	18	100.0%	257	100.0%

(合計)

	はじめて		2回目		3回目		4回目以上		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
運河と歴史的景観	972	30.1%	500	28.0%	253	26.2%	592	18.8%	2,317	25.4%
文学・美術	73	2.3%	34	1.9%	25	2.6%	77	2.4%	209	2.3%
自然	336	10.4%	127	7.1%	86	8.9%	271	8.6%	820	9.0%
ガラス・オルゴール	532	16.5%	308	17.3%	167	17.3%	477	15.1%	1,484	16.2%
食べ物(鮭・スイーツなど)	939	29.1%	552	30.9%	272	28.2%	888	28.1%	2,651	29.0%
温泉	159	4.9%	103	5.8%	70	7.3%	213	6.7%	545	6.0%
マリンレジャー(水族館を含む。)	49	1.5%	61	3.4%	47	4.9%	263	8.3%	420	4.6%
ウィンタースポーツ	29	0.9%	15	0.8%	8	0.8%	25	0.8%	77	0.8%
イベント、お祭り	48	1.5%	24	1.3%	8	0.8%	62	2.0%	142	1.6%
その他	94	2.9%	60	3.4%	28	2.9%	288	9.1%	470	5.1%
合計	3,231	100.0%	1,784	100.0%	964	100.0%	3,156	100.0%	9,135	100.0%

注) 数字は、無回答を除く。

(7) 来樽動機

①道内外・外国人別

来樽動機を、道内外・外国人別でみると、道内客は「以前に来た時の体験・感想」が32.8%と最も多く、次いで「ガイドブック・パンフレット・ポスター」が17.8%、「インターネット・ホームページ」が14.8%の順で多かった。道外客は、「ガイドブック・パンフレット・ポスター」が42.2%と最も多く、次いで「インターネット・ホームページ」が16.6%、「以前に来た時の体験・感想」が15.6%の順で多かった。外国人は、「インターネット・ホームページ」が34.2%と最も多く、次いで「ガイドブック・パンフレット・ポスター」が28.9%、「口コミ」が15.1%の順で多かった。平成20年度調査と比べると、道内外ともに「以前に来た時の体験・感想」、「テレビ・ラジオ」、「その他」の割合が減少し、「インターネット・ホームページ」、「ガイドブック・パンフレット・ポスター」、「SNS」の割合が増加した。

(2-表7-1) 道内外・外国人別来樽動機の内訳 <複数回答>

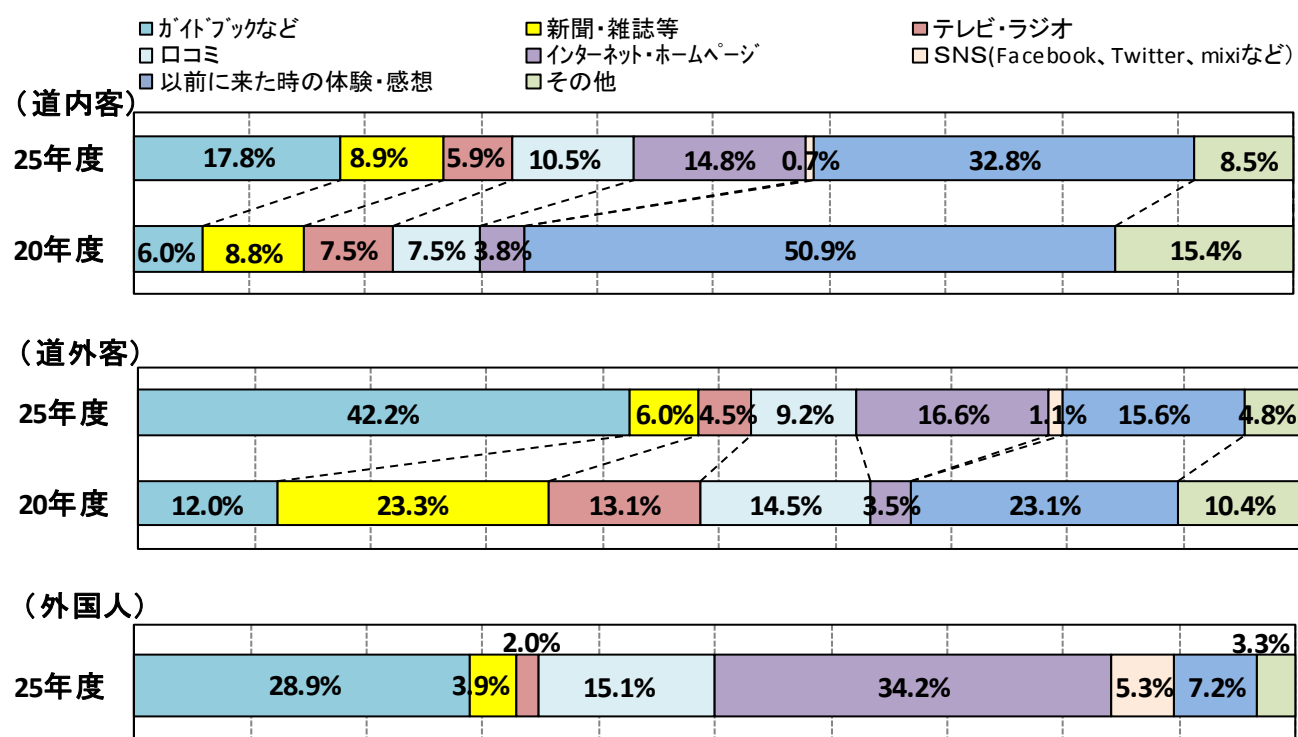
(回答数)

		ガイドブック・パンフレット・ポスター	新聞・雑誌等	テレビ・ラジオ	口コミ	インターネット・ホームページ (携帯電話含む。)	SNS (Facebook、Twitter、mixiなど)	以前に来た時の体験・感想	その他	合計
平成25年度	道内客	376	187	124	221	312	15	692	180	2,107
	道外客	1,528	216	163	331	600	40	566	173	3,617
	外国人	44	6	3	23	52	8	11	5	152
	合計	1,948	409	290	575	964	63	1,269	358	5,876
平成20年度	道内客	70	103	88	88	45	-	596	180	1,170
	道外客	380	740	416	461	110	-	733	330	3,170
	合計	450	843	504	549	155	-	1,329	510	4,340

注1)数字は、無回答を除く。

注2)「SNS」は、平成25年度調査からの新調査項目である。

(2-図7-1) 道内外・外国人別来樽動機の内訳 <複数回答>



②男女別

来構動機を、男女別でみると、男性は「ガイドブック・パンフレット・ポスター」が32.0%と最も多く、次いで「以前にきた時の体験・感想」が21.6%、「インターネット・ホームページ」が17.6%の順で多かった。女性は、「ガイドブック・パンフレット・ポスター」が34.1%、「以前にきた時の体験・感想」が21.6%、「インターネット・ホームページ」が15.5%の順で多かった。平成20年度調査と比べると、男性・女性ともに「新聞・雑誌等」、「テレビ・ラジオ」、「ロコミ」、「以前にきた時の体験・感想」、「その他」の割合が減少し、「ガイドブック・パンフレット・ポスター」、「インターネット・ホームページ」、「SNS」の割合が増加した。

(2-表7-2) 男女別来構動機の内訳〈複数回答〉

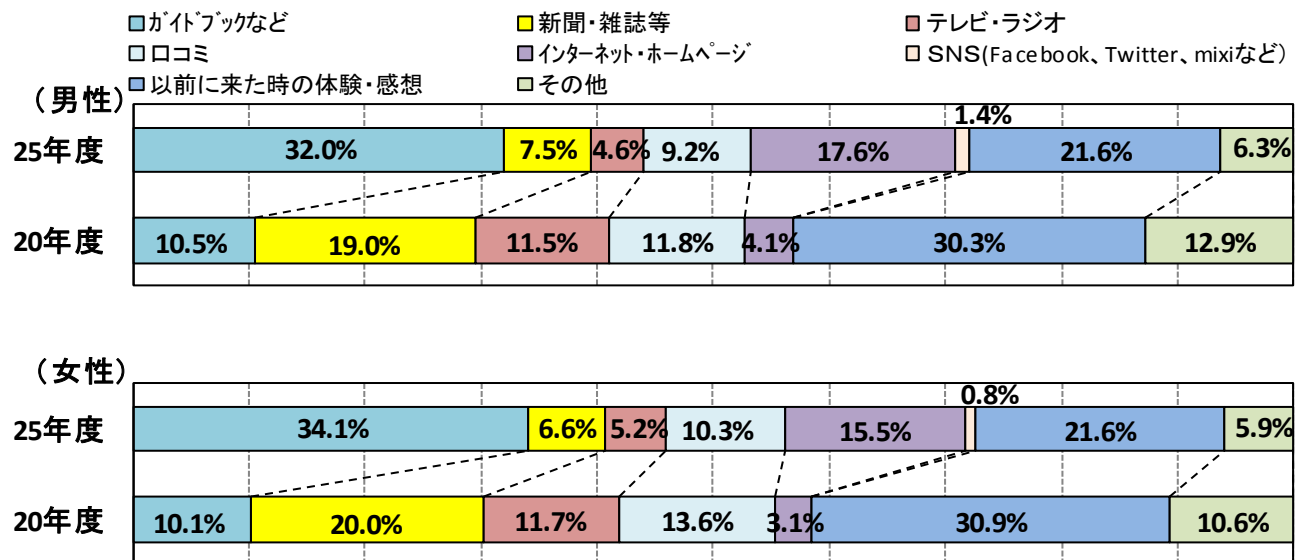
(回答数)

		ガイドブック・パンフレット・ポスター	新聞・雑誌等	テレビ・ラジオ	ロコミ	インターネット・ホームページ (携帯電話含む。)	SNS (Facebook、Twitter、mixiなど)	以前にきた時の体験・感想	その他	合計
平成25年度	男性	825	193	118	236	453	35	557	162	2,579
	女性	1,127	218	173	340	511	28	714	196	3,307
	合計	1,952	411	291	576	964	63	1,271	358	5,886
平成20年度	男性	235	425	258	264	91	—	678	288	2,239
	女性	215	425	248	288	65	—	656	226	2,123
	合計	450	850	506	552	156	—	1,334	514	4,362

注1)数字は、無回答を除く。

注2)「SNS」は、平成25年度調査からの新調査項目である。

(2-図7-2) 男女別来構動機の内訳〈複数回答〉



(8) 観光ゾーン

①道内外・外国人別

市内を7つの観光ゾーンに分けた訪問比率は、道内客は「運河(浅草橋街園)周辺地区」が29.3%と最も多く、次いで「小樽駅周辺地区」が20.6%、「祝津・オタモイ地区」が17.2%となった。道外客は「運河(浅草橋街園)周辺地区」が37.8%と最も多く、次いで「小樽駅周辺地区」が27.1%、「堺町周辺地区」が17.8%となった。外国人は「運河(浅草橋街園)周辺地区」が29.8%と最も多く、次いで「小樽駅周辺地区」が21.0%、「堺町周辺地区」が13.8%となった。

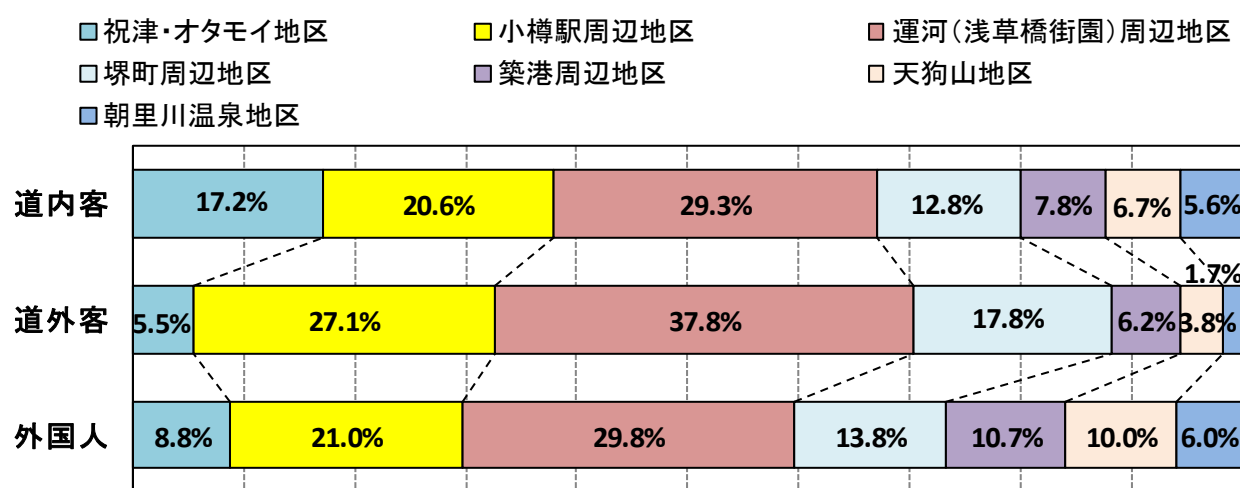
観光ゾーン別の主な比率は、市中心部より離れた「祝津・オタモイ地区」、「朝里川温泉地区」などは他のゾーンと比較し道内客が多く、市中心部の「運河(浅草橋街園)周辺地区」、「小樽駅周辺地区」、「堺町周辺地区」は道外客が多い結果となった。また、「築港周辺地区」、「天狗山地区」、「朝里川温泉地区」は、外国人の訪問割合が高い結果となった。

(2-表8-1) 道内外・外国人別周遊観光ゾーンの内訳 <複数回答>

	道内客	道外客	外国人	合計
祝津・オタモイ地区	680	338	28	1,046
小樽駅周辺地区	814	1,654	67	2,535
運河(浅草橋街園)周辺地区	1,156	2,314	95	3,565
堺町周辺地区	507	1,087	44	1,638
築港周辺地区	307	381	34	722
天狗山地区	264	234	32	530
朝里川温泉地区	221	106	19	346
合計	3,949	6,114	319	10,382

注) 数字は、無回答を除く。

(2-図8-1) 道内外・外国人別周遊観光ゾーンの内訳 <複数回答>



②道内外・外国人別訪問回数別

道内客・道外客ともに「はじめて」の来訪では、「運河(浅草橋街園)周辺地区」、「小樽駅周辺地区」、「堺町周辺地区」の順にその比率が高いが、訪問回数を重ねるに従い、道内客は「運河(浅草橋街園)周辺地区」、「小樽駅周辺地区」、「堺町周辺地区」が、道外客は「運河(浅草橋街園)周辺地区」、「堺町周辺地区」の比率が減少する傾向にある。その一方で、道内客・道外客ともに「祝津・オタモイ地区」、「築港周辺地区」、「天狗山地区」、「朝里川温泉地区」が訪問回数を重ねるに従い比率が増加する傾向にある。外国人は「はじめて」の来訪では、道内・道外同様に「運河(浅草橋街園)周辺地区」、「小樽駅周辺地区」、「堺町周辺地区」の順にその比率が高く、リピーターは少ないが、訪問回数を重ねるに従い「堺町周辺地区」、「天狗山地区」の比率が増加する傾向にある。

(2-表8-2)道内外・外国人別訪問回数別周遊観光ゾーンの内訳〈複数回答〉

(道内客)

	はじめて		2回目		3回目		4回目以上		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
祝津・オタモイ地区	33	12.7%	67	17.1%	70	18.1%	503	17.7%	673	17.3%
小樽駅周辺地区	58	22.3%	78	19.9%	92	23.8%	577	20.3%	805	20.8%
運河(浅草橋街園)周辺地区	85	32.7%	119	30.4%	111	28.8%	825	29.0%	1,140	29.4%
堺町周辺地区	45	17.3%	62	15.9%	49	12.7%	341	12.0%	497	12.8%
築港周辺地区	14	5.4%	24	6.1%	26	6.7%	237	8.3%	301	7.8%
天狗山地区	16	6.2%	24	6.1%	24	6.2%	186	6.5%	250	6.4%
朝里川温泉地区	9	3.5%	17	4.3%	14	3.6%	173	6.1%	213	5.5%
合計	260	100.0%	391	100.0%	386	100.0%	2,842	100.0%	3,879	100.0%

(道外客)

	はじめて		2回目		3回目		4回目以上		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
祝津・オタモイ地区	140	4.8%	80	5.3%	30	4.6%	85	8.3%	335	5.5%
小樽駅周辺地区	792	27.4%	403	26.5%	175	26.6%	281	27.5%	1,651	27.1%
運河(浅草橋街園)周辺地区	1,121	38.8%	593	39.0%	249	37.8%	343	33.6%	2,306	37.9%
堺町周辺地区	534	18.5%	282	18.5%	114	17.3%	154	15.1%	1,084	17.8%
築港周辺地区	168	5.8%	93	6.1%	46	7.0%	73	7.1%	380	6.2%
天狗山地区	99	3.4%	50	3.3%	32	4.9%	50	4.9%	231	3.8%
朝里川温泉地区	38	1.3%	20	1.3%	12	1.8%	35	3.4%	105	1.7%
合計	2,892	100.0%	1,521	100.0%	658	100.0%	1,021	100.0%	6,092	100.0%

(外国人)

	はじめて		2回目		3回目		4回目以上		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
祝津・オタモイ地区	19	8.3%	6	12.8%	2	10.5%	1	5.0%	28	8.9%
小樽駅周辺地区	52	22.6%	9	19.1%	4	21.1%	2	10.0%	67	21.2%
運河(浅草橋街園)周辺地区	69	30.0%	13	27.7%	4	21.1%	6	30.0%	92	29.1%
堺町周辺地区	32	13.9%	7	14.9%	1	5.3%	4	20.0%	44	13.9%
築港周辺地区	25	10.9%	4	8.5%	3	15.8%	2	10.0%	34	10.8%
天狗山地区	21	9.1%	4	8.5%	3	15.8%	4	20.0%	32	10.1%
朝里川温泉地区	12	5.2%	4	8.5%	2	10.5%	1	5.0%	19	6.0%
合計	230	100.0%	47	100.0%	19	100.0%	20	100.0%	316	100.0%

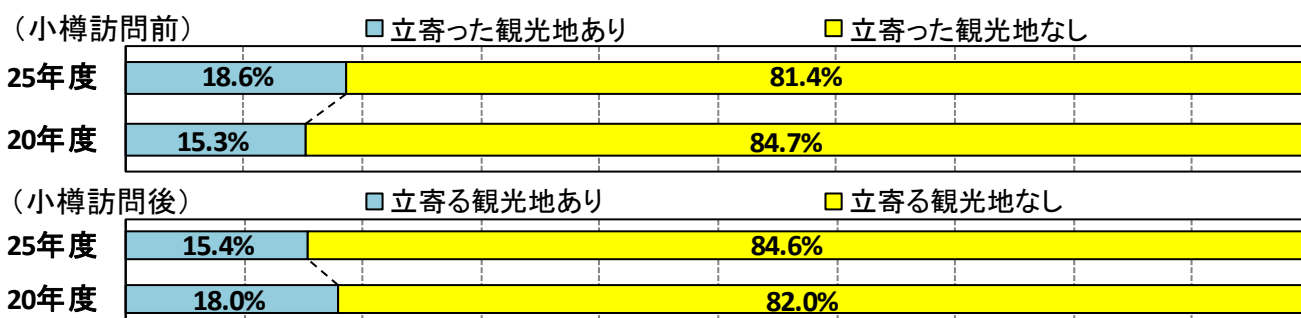
注) 数字は無回答を除く。

(9) 小樽訪問前後の立寄り観光地

①道内客

小樽訪問前後の立寄り状況を、道内客でみると、訪問前後ともに8割以上が立寄り観光地がなかった。平成20年度調査と比較すると、訪問前に立寄った観光地はやや増加したのに対し、訪問後はやや減少した。訪問前は、「札幌」が最も多く、次いで「余市」、「定山溪」となっており、訪問後は、「札幌」が最も多く、次いで「余市」、「ニセコ」となっている。

(2-図9-1) 小樽訪問前後の立寄り状況(道内客)〈複数回答〉



(2-表9-1) 小樽訪問前後の立寄り観光地(道内客)〈複数回答〉

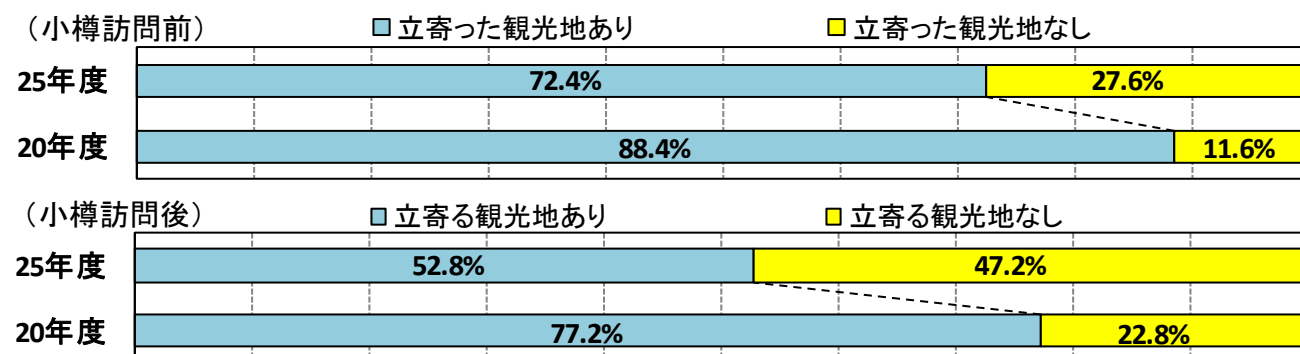
(小樽訪問前)				(小樽訪問後)			
観光地	平成25年度		平成20年度	観光地	平成25年度		平成20年度
	回答数	構成比	構成比		回答数	構成比	構成比
札幌	126	46.8%	46.3%	札幌	113	51.4%	53.0%
余市	42	15.6%	2.5%	余市	32	14.5%	10.6%
定山溪	24	8.9%	6.3%	ニセコ	20	9.1%	9.1%
ニセコ	18	6.7%	7.5%	定山溪	8	3.6%	7.6%
旭川	12	4.5%	8.8%	函館	6	2.7%	4.5%
積丹	9	3.3%	3.8%	旭川	5	2.3%	—
函館	6	2.2%	3.8%	その他	36	16.4%	15.2%
千歳	5	1.9%	2.5%	合計	220	100.0%	100.0%
その他	27	10.0%	18.5%				
合計	269	100.0%	100.0%				

注)平成25年度について、回答数が5以上の観光地を表記し、5未満の観光地は「その他」に合算した。

②道外客

小樽訪問前後の立寄り状況を、道外客でみると、訪問前は約7割が立寄った観光地があるが、平成20年度調査と比較すると減少した。訪問後は約5割が立ち寄る観光地があるが、平成20年度調査と比較すると大幅に減少した。訪問前後ともに「札幌」が最も多く、次いで「函館」、「旭川」となっている。

(2-図9-2) 小樽訪問前後の立寄り状況(道外客)〈複数回答〉



(2-表9-2) 小樽訪問前後の立寄り観光地(道外客) <複数回答>

(小樽訪問前)

観光地	平成25年度		平成20年度
	回答数	構成比	構成比
札幌	1,081	60.3%	58.8%
函館	148	8.2%	6.1%
旭川	144	8.0%	10.5%
富良野・美瑛	90	5.0%	3.2%
登別	59	3.3%	3.0%
ニセコ	39	2.2%	1.6%
洞爺湖	25	1.4%	1.7%
定山溪	21	1.2%	3.1%
余市	20	1.1%	1.1%
積丹	17	0.9%	0.8%
キロロ	12	0.7%	0.7%
千歳	10	0.6%	0.7%
網走	10	0.6%	0.3%
知床	9	0.5%	0.3%
帯広	8	0.4%	0.2%
釧路	7	0.4%	-
留寿都	7	0.4%	0.4%
支笏湖	7	0.4%	0.3%
稚内	6	0.3%	0.1%
層雲峡	5	0.3%	0.5%
その他	69	3.8%	6.8%
合計	1,794	100.0%	100.0%

(小樽訪問後)

観光地	平成25年度		平成20年度
	回答数	構成比	構成比
札幌	619	52.1%	55.3%
函館	107	9.0%	5.8%
旭川	106	8.9%	11.0%
ニセコ	73	6.1%	2.5%
富良野・美瑛	52	4.4%	2.3%
登別	41	3.5%	3.7%
余市	41	3.5%	1.0%
定山溪	17	1.4%	3.7%
積丹	17	1.4%	1.1%
洞爺湖	16	1.3%	2.7%
千歳	16	1.3%	0.8%
釧路	7	0.6%	-
支笏湖	7	0.6%	0.5%
キロロ	6	0.5%	0.8%
その他	63	5.3%	8.6%
合計	1,188	100.0%	100.0%

注)平成25年度について、回答数が5以上の観光地を表記し、5未満の観光地は「その他」に合算した。

③外国人

小樽訪問前後の立寄り状況を、外国人でみると、訪問前後ともに約7割が立寄り観光地があるが、道内客・道外客と異なり、訪問後に別の観光地を立寄る割合が高い結果となった。訪問前後ともに「札幌」が最も多く、次いで「函館」、「富良野・美瑛」と同じ結果となっている。

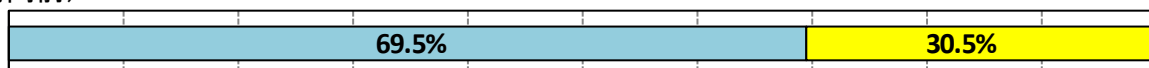
(2-図9-3) 小樽訪問前後の立寄り状況(外国人) <複数回答>

(小樽訪問前)

■ 立寄った観光地あり

■ 立寄った観光地なし

25年度



(小樽訪問後)

■ 立寄る観光地あり

■ 立寄る観光地なし

25年度



(2-表9-3) 小樽訪問前後の立寄り観光地(外国人) <複数回答>

(小樽訪問前)

観光地	平成25年度	
	回答数	構成比
札幌	37	56.1%
函館	8	12.1%
富良野・美瑛	8	12.1%
その他	13	19.7%
合計	66	100.0%

(小樽訪問後)

観光地	平成25年度	
	回答数	構成比
札幌	29	51.8%
函館	7	12.5%
富良野・美瑛	5	8.9%
その他	15	26.8%
合計	56	100.0%

注)平成25年度について、回答数が5以上の観光地を表記し、5未満の観光地は「その他」に合算した。

(10) 来樽時の利用交通手段

来樽時の利用交通手段をみると、道内客は、「自家用車・バイク」が59.9%と最も多く、次いで「JR」が32.1%、「路線バス」が4.7%となっており、平成20年度調査と比べると「JR」の割合が増加し、「自家用車・バイク」の割合が減少した。道外客は「JR」が59.5%と最も多く、次いで「レンタカー」が20.9%、「自家用車・バイク」が5.6%となっており、平成20年度調査と比べると「JR」の割合が増加し、「レンタカー」の割合が減少した。外国人は、「JR」が88.9%と大きな割合を占める結果となった。

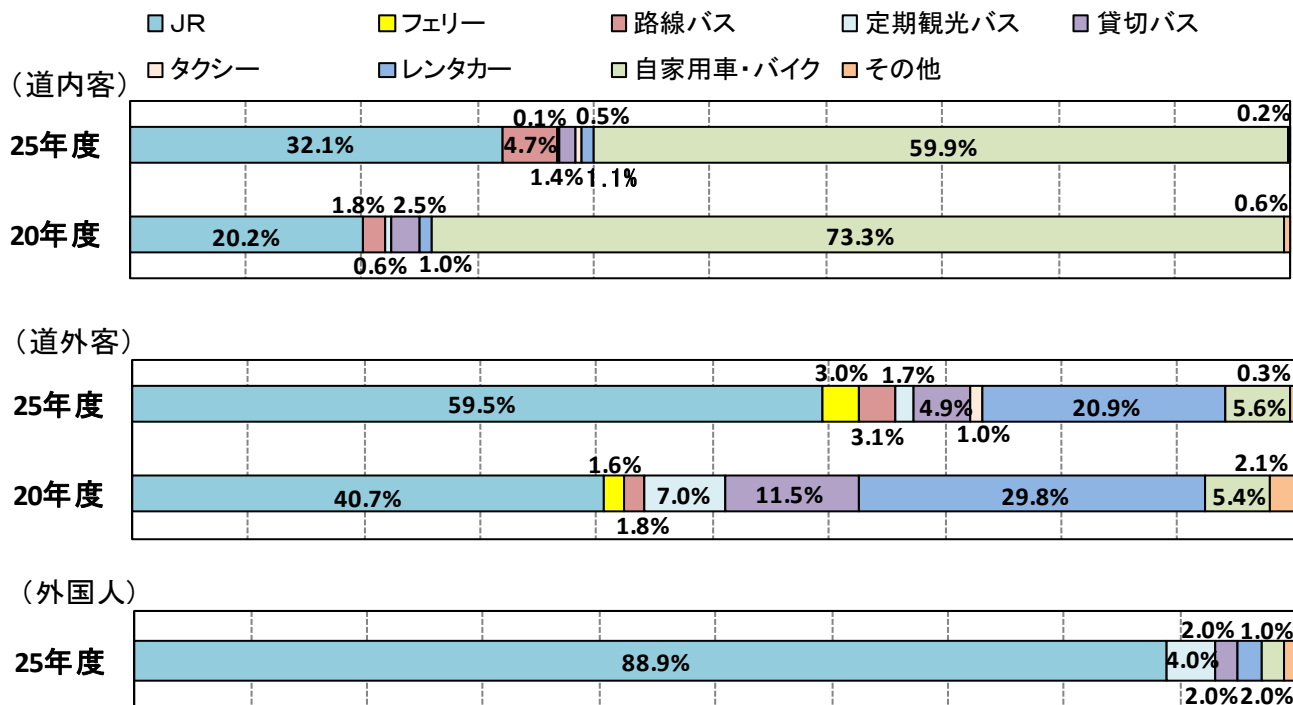
(2-表10-1) 道内外・外国人別来樽時利用交通機関の内訳

(単位:人)

	平成25年度				平成20年度		
	道内客	道外客	外国人	合計	道内客	道外客	合計
JR	569	1,653	88	2,310	196	965	1,161
フェリー	-	84	-	84	-	38	38
路線バス(都市間高速バスを含む。)	83	87	-	170	17	43	60
定期観光バス	2	47	4	53	6	166	172
貸切バス	25	135	2	162	24	273	297
タクシー	9	29	-	38	-	-	-
レンタカー	19	580	2	601	10	707	717
自家用車・バイク	1,060	157	2	1,219	711	129	840
その他	3	7	1	11	6	50	56
合計	1,770	2,779	99	4,648	970	2,371	3,341

注) 数字は無回答を除く。

(2-図10-1) 道内外・外国人別来樽時利用交通機関の内訳



(11) 市内での利用交通手段

市内での利用交通手段をみると、道内客は、「徒歩」が36.4%と最も多く、次いで「自家用車・バイク」が35.1%、「路線バス」が12.9%となっており、平成20年度調査と比べると、「自家用車・バイク」などの割合が減少した。道外客は「徒歩」が48.5%と最も多く、次いで「路線バス」が13.5%、「レンタカー」が13.2%となっており、平成20年度調査と比べると、「レンタカー」などの割合が減少した。外国人は、「徒歩」が56.8%と最も多く、次いで「JR」が14.4%、「路線バス」が11.9%となった。

(2-表11-1) 道内外・外国人別市内利用交通機関の内訳〈複数回答〉

(回答数)

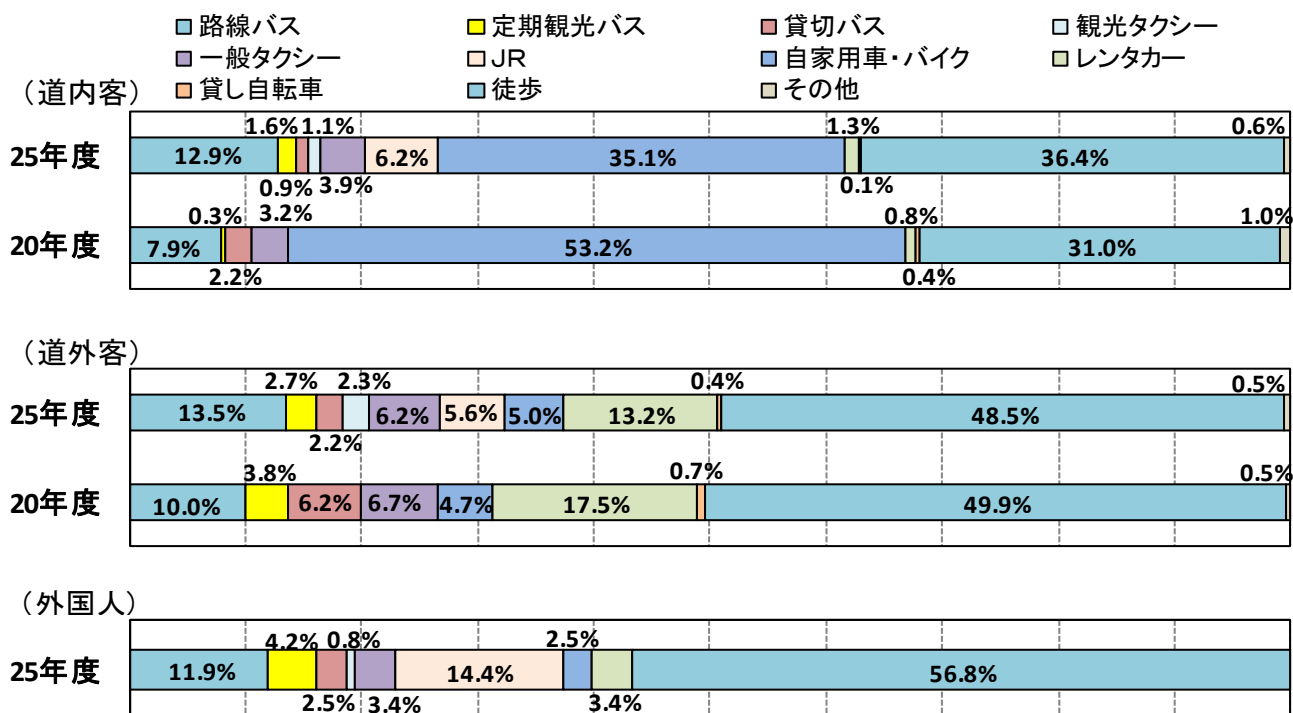
	平成25年度				平成20年度		
	道内客	道外客	外国人	合計	道内客	道外客	合計
路線バス(都市間高速バスを含む。)	264	447	14	725	100	336	436
定期観光バス	32	88	5	125	4	127	131
貸切バス	19	72	3	94	28	208	236
観光タクシー 注2)	23	75	1	99			
一般タクシー 注2)	80	204	4	288	40	226	266
JR 注3)	127	185	17	329	—	—	—
自家用車・バイク	720	164	3	887	670	158	828
レンタカー	26	438	4	468	10	590	600
貸し自転車	3	13	—	16	5	25	—
徒歩	748	1,602	67	2,417	391	1,682	2,073
その他	12	18	—	30	12	16	28
合計	2,054	3,306	118	5,478	1,260	3,368	4,628

注1) 数字は無回答を除く。

注2) 平成20年度調査では、「観光タクシー」と「一般タクシー」を区分していない。

注3) 「JR」は、平成25年度調査からの新調査項目である。

(2-図11-1) 道内外・外国人別市内利用交通機関の内訳〈複数回答〉



(12) 小樽での宿泊の有無

宿泊した割合をみると、道内客の宿泊した割合は31.2%となり、平成20年度調査と比べると、宿泊した割合は6.8ポイント増加した。道外客の宿泊した割合は38.2%となり、平成20年度調査と比べると、宿泊した割合は6.7ポイント増加した。また、外国人の宿泊した割合は28.0%であった。季節別道内外・外国人別に宿泊した割合をみると、「道内の冬季」が45.8%、「外国人の冬季」が42.3%、「道外の秋季」が41.7%の順に高い結果となった。

(2-表12-1) 季節別道内外・外国人別宿泊の有無の内訳

(平成25年度)

(単位:人)

	春季			夏季			秋季		
	道内客	道外客	外国人	道内客	道外客	外国人	道内客	道外客	外国人
日帰り	432	485	16	285	391	22	341	412	19
1泊	175	188	3	86	216	6	111	233	4
2泊	15	47	1	8	25	1	14	38	1
3泊以上	3	16	-	10	34	1	4	24	-
合計	625	736	20	389	666	30	470	707	24

	冬季			合計			計
	道内客	道外客	外国人	道内客	道外客	外国人	
日帰り	136	421	15	1,194	1,709	72	2,975
1泊	103	183	8	475	820	21	1,316
2泊	10	36	1	47	146	4	197
3泊以上	2	16	2	19	90	3	112
合計	251	656	26	1,735	2,765	100	4,600

(平成20年度)

(単位:人)

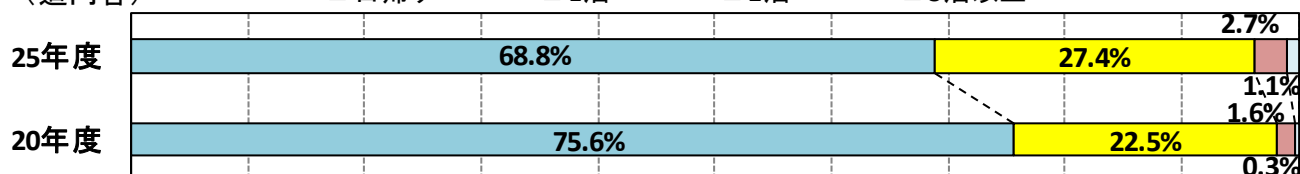
	春季		夏季		秋季		冬季		合計		
	道内客	道外客	道内客	道外客	道内客	道外客	道内客	道外客	道内客	道外客	計
日帰り	162	382	209	491	262	432	93	303	726	1,608	2,334
1泊	57	87	49	243	70	159	40	125	216	614	830
2泊	1	15	4	46	5	13	5	19	15	93	108
3泊以上	-	7	3	16	-	6	-	5	3	34	37
合計	220	491	265	796	337	610	138	452	960	2,349	3,309

注)数字は無回答を除く。

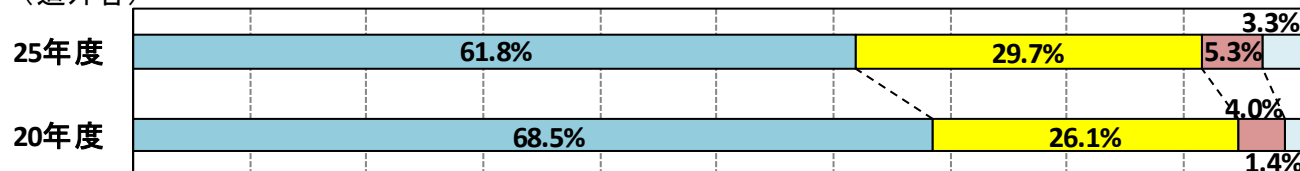
(2-図12-1) 道内外・外国人別宿泊の有無の内訳

(道内客)

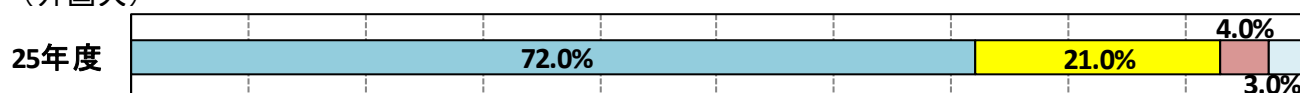
□ 日帰り □ 1泊 □ 2泊 □ 3泊以上



(道外客)

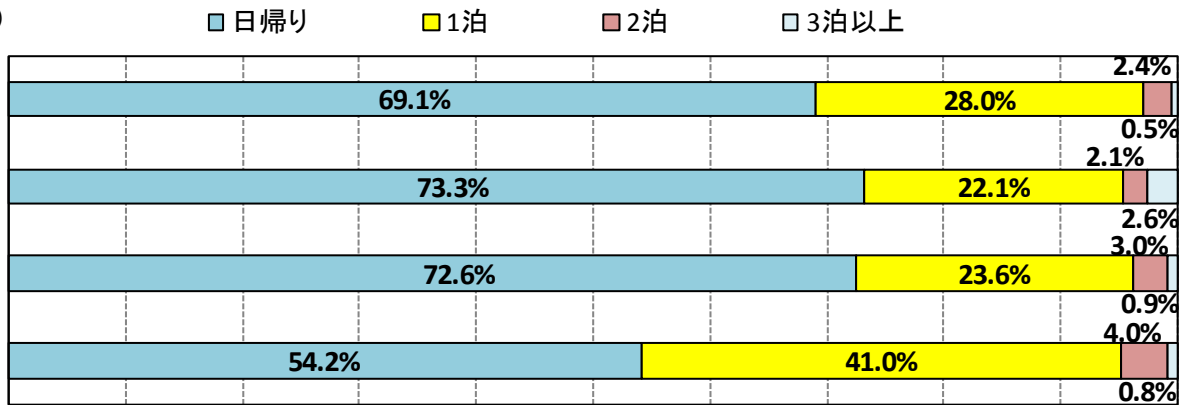


(外国人)

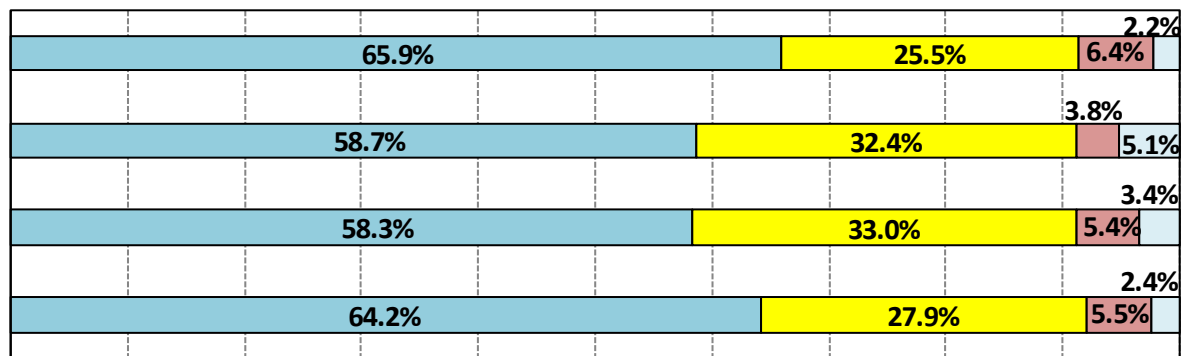


(2-図12-2) 道内外・外国人別季節別宿泊の有無の内訳

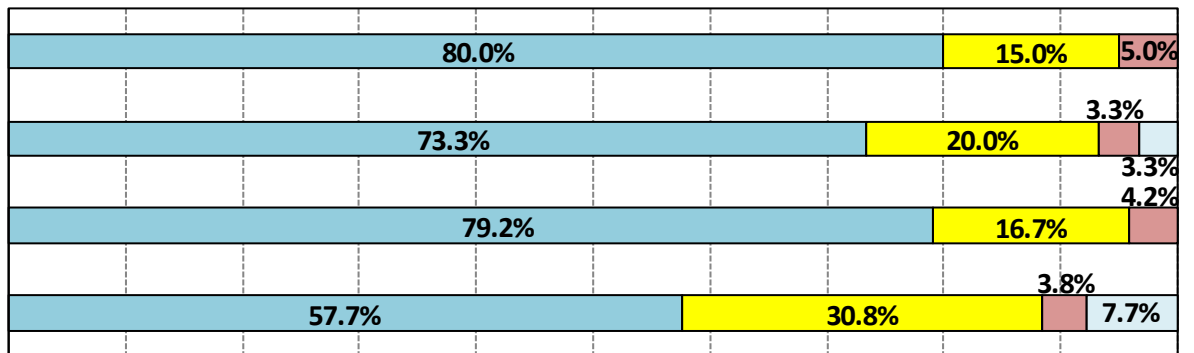
(道内客)



(道外客)



(外国人)



(13) 小樽での滞在時間（日帰り客）

日帰り客の小樽での滞在時間は、全体で4.9時間となっている。

道内外・外国人別でみると、外国人が7.2時間と最も長く、次いで道内客が5.2時間、道外客が4.6時間となっており、平成20年度調査と比べると、道内客が0.5時間、道外客が0.4時間の増となった。

訪問回数別では、はじめての来訪では4.8時間であるが、4回目以上では5.1時間となっている。

(2-表13-1) 季節別道内外・外国人別の平均滞在時間

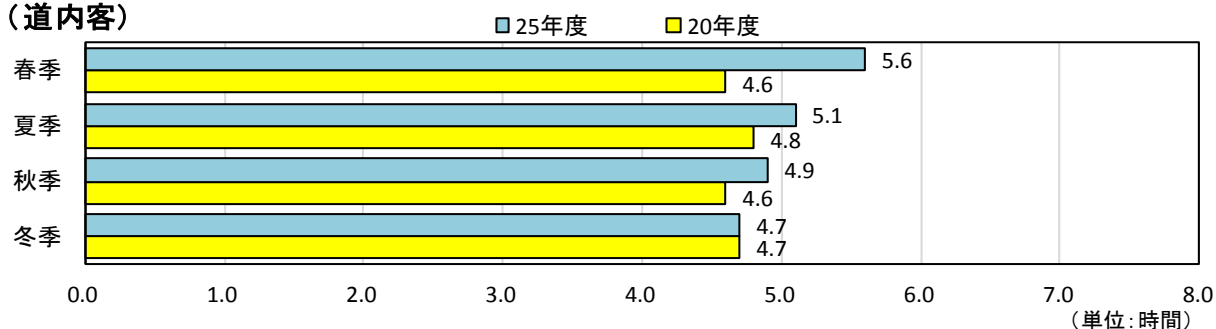
(単位:時間)

		春季		夏季		秋季		冬季		合計	
		25年度	20年度	25年度	20年度	25年度	20年度	25年度	20年度	25年度	20年度
道内客		5.6	4.6	5.1	4.8	4.9	4.6	4.7	4.7	5.2	4.7
道外客		4.8	3.9	4.6	4.2	4.2	4.5	4.7	4.4	4.6	4.2
外国人		7.3	-	6.2	-	7.7	-	7.4	-	7.2	-
合計		5.2	4.2	4.8	4.5	4.6	4.6	4.8	4.6	4.9	4.4
内訳	はじめて	4.9	3.8	4.7	4.0	4.8	4.3	5.0	4.6	4.8	4.1
	2回目	5.0	4.1	5.0	4.5	4.5	4.6	4.7	4.5	4.8	4.4
	3回目	5.1	3.9	4.2	4.2	4.4	4.1	4.5	4.7	4.5	4.2
	4回目以上	5.6	4.7	5.1	4.7	4.6	4.7	4.8	4.6	5.1	4.7

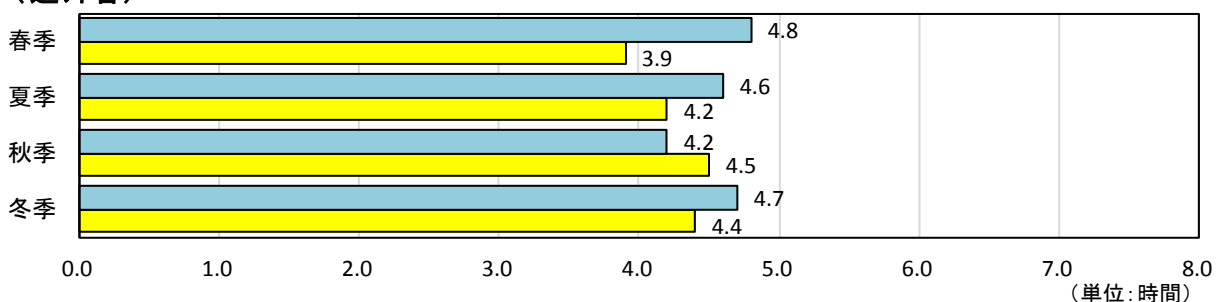
注)数字は無回答を除く。

(2-図13-1) 季節別道内外・外国人別の平均滞在時間

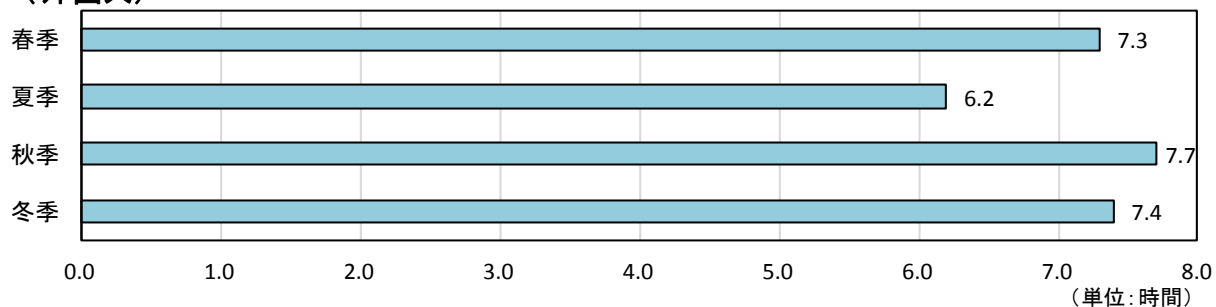
(道内客)



(道外客)



(外国人)



(14) 小樽の夜の観光

宿泊した観光客の夜の観光では、道内客は「飲食店・居酒屋など」が29.3%で最も多く、道外客は「運河散策」が30.5%で、外国人も「運河散策」が36.1%で最も多かった。平成20年度調査と比べると道内客は「夜の観光はしない」の割合が1割以上減少したのに対し、道外客は割合が増加した。季節別にみると、夏季は、夜の観光を行う割合が高く、秋季は、夜の観光を行う割合が低い傾向にある。

(2-表14-1) 季節別道内外・外国人別の夜の観光の内訳 <複数回答>

(平成25年度)

(回答数)

	春季			夏季			秋季		
	道内客	道外客	外国人	道内客	道外客	外国人	道内客	道外客	外国人
街なか散策	43	77	-	28	92	3	30	85	-
運河散策	71	104	1	42	145	5	45	124	-
夜景観賞	18	23	-	14	30	2	14	33	1
飲食店・居酒屋など	86	108	-	47	131	3	35	89	-
その他	8	5	1	2	6	-	4	12	-
夜の観光はしない	45	48	-	25	48	-	49	89	4
合計	271	365	2	158	452	13	177	432	5

	冬季			合計			計
	道内客	道外客	外国人	道内客	道外客	外国人	
街なか散策	29	58	4	130	312	7	449
運河散策	40	114	7	198	487	13	698
夜景観賞	7	22	2	53	108	5	166
飲食店・居酒屋など	57	99	2	225	427	5	657
その他	2	8	-	16	31	1	48
夜の観光はしない	26	49	1	145	234	5	384
合計	161	350	16	767	1,599	36	2,402

(平成20年度)

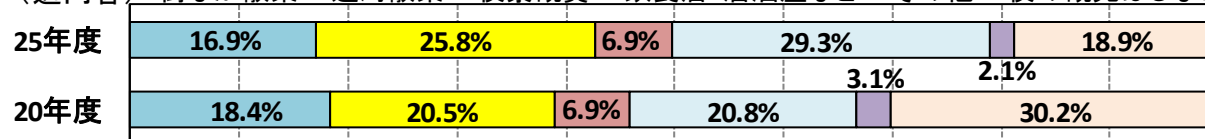
(回答数)

	春季		夏季		秋季		冬季		合計		
	道内客	道外客	道内客	道外客	道内客	道外客	道内客	道外客	道内客	道外客	計
街なか散策	10	45	12	131	19	67	12	53	53	296	349
運河散策	11	51	15	162	25	100	8	83	59	396	455
夜景観賞	4	11	5	46	7	23	4	19	20	99	119
飲食店・居酒屋など	8	28	13	115	24	70	15	76	60	289	349
その他	1	4	-	3	4	7	4	-	9	14	23
夜の観光はしない	25	18	27	47	20	31	15	21	87	117	204
合計	59	157	72	504	99	298	58	252	288	1,211	1,499

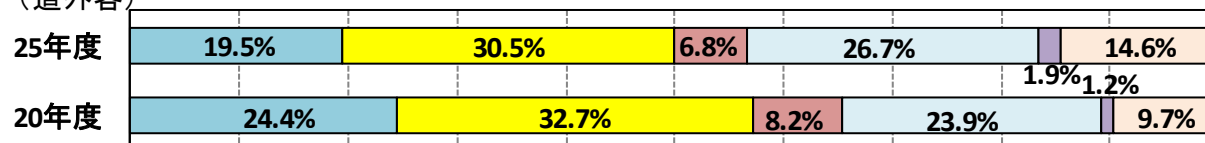
注) 数字は無回答を除く。

(2-図14-1) 季節別道内外・外国人別の夜の観光の内訳

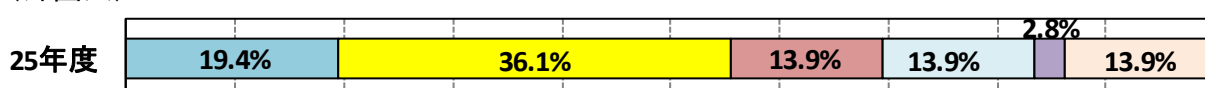
(道内客) □ 街なか散策 □ 運河散策 □ 夜景観賞 □ 飲食店・居酒屋など □ その他 □ 夜の観光はしない



(道外客)

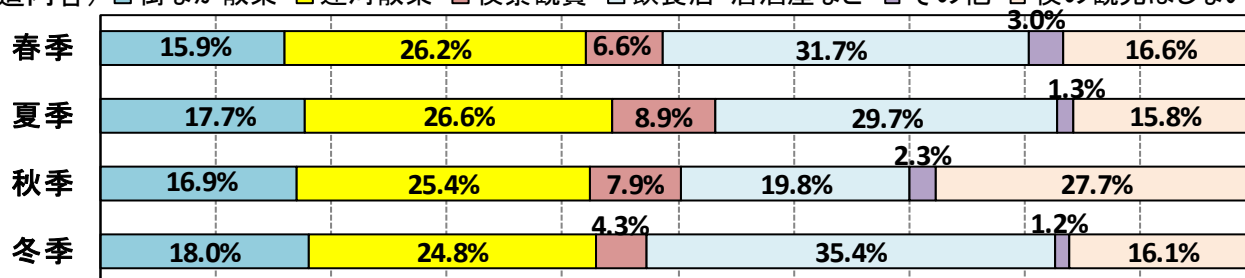


(外国人)

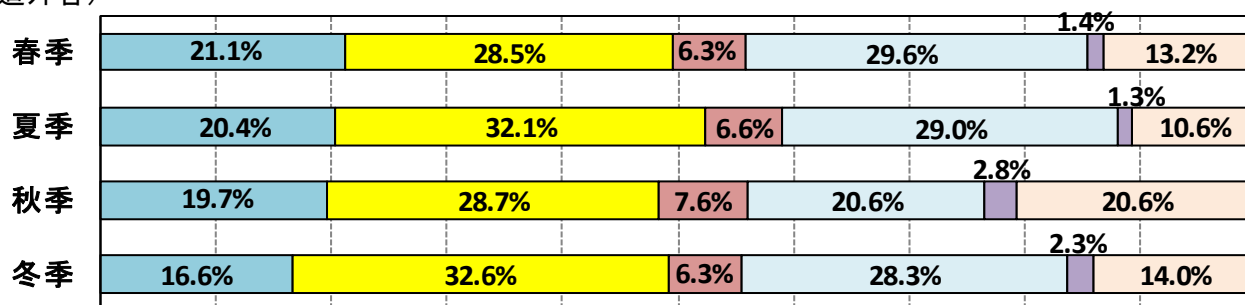


(2-図14-2) 道内外・外国人別季節別の夜の観光の内訳

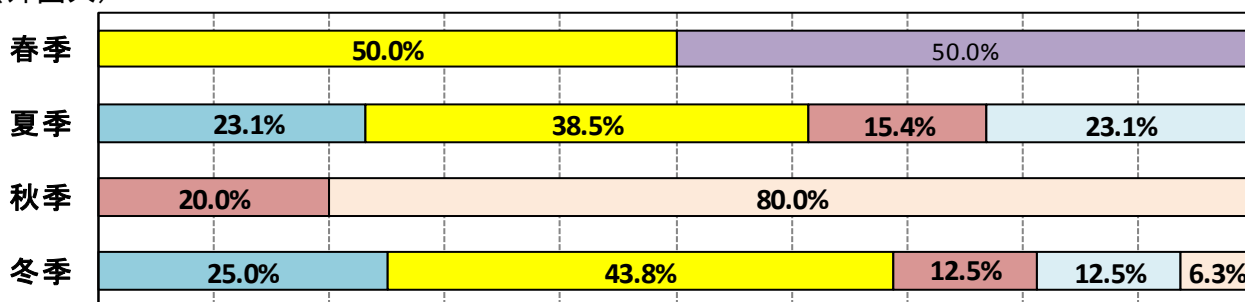
(道内客) ■ 街なか散策 ■ 運河散策 ■ 夜景観賞 ■ 飲食店・居酒屋など ■ その他 ■ 夜の観光はしない



(道外客)



(外国人)



(15) 土産品

①道内外・外国人別

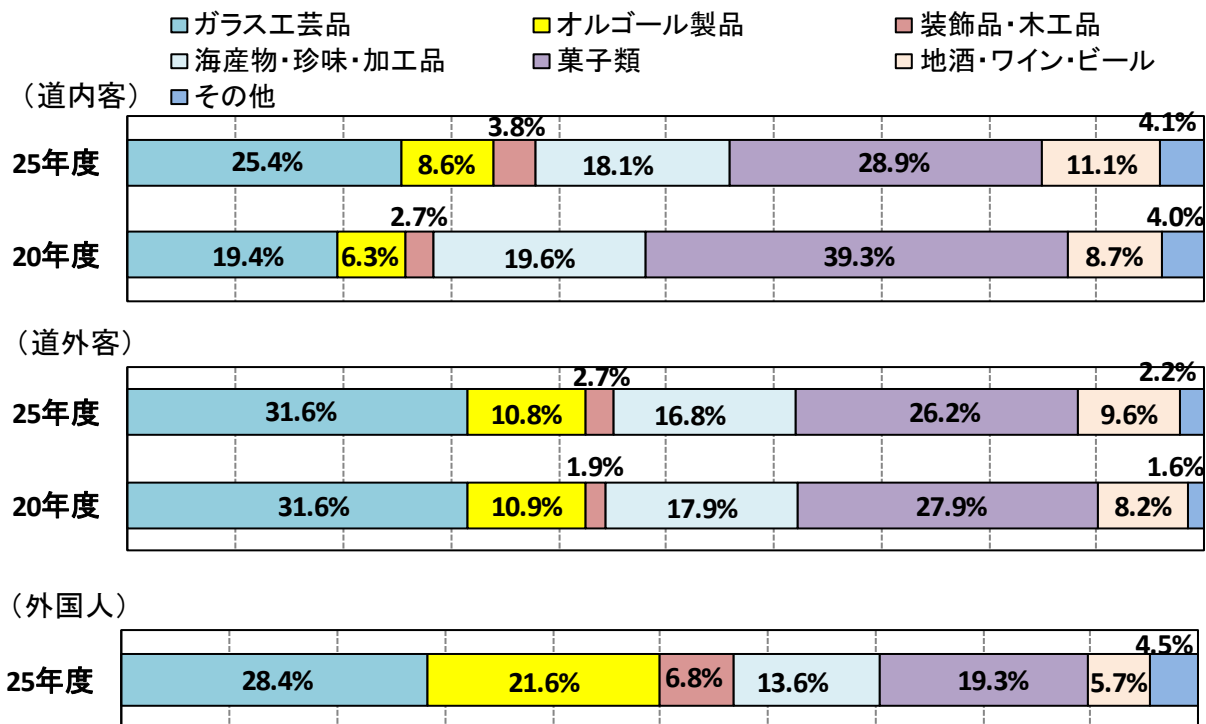
購入した土産品をみると、道内客は「菓子類」が28.9%と最も多く、次いで「ガラス工芸品」が25.4%、「海産物・珍味・加工品」が18.1%となっている。道外客は「ガラス工芸品」が31.6%と最も多く、次いで「菓子類」が26.2%、「海産物・珍味・加工品」が16.8%となっている。外国人は、「ガラス工芸品」が28.4%で最も多く、次いで「オルゴール製品」が21.6%、「菓子類」が19.3%となっている。平成20年度調査と比べると、「菓子類」と「海産物・珍味・加工品」の割合が減少し、「装飾品・木工品」と「地酒・ワイン・ビール」の割合が増加した。

(2-表15-1) 道内外・外国人別土産品の内訳〈複数回答〉

	平成25年度				(回答数)		
	道内客	道外客	外国人	合計	道内客	道外客	合計
ガラス工芸品	628	1,365	50	2,043	236	1,353	1,589
オルゴール製品	213	466	38	717	77	465	542
装飾品・木工品	95	118	12	225	33	82	115
海産物・珍味・加工品	448	726	24	1,198	238	766	1,004
菓子類	716	1,133	34	1,883	478	1,196	1,674
地酒・ワイン・ビール	275	415	10	700	106	353	459
その他	101	95	8	204	49	68	117
合計	2,476	4,318	176	6,970	1,217	4,283	5,500

注) 数字は無回答を除く。

(2-図15-1) 道内外・外国人別土産品の内訳



②訪問回数別

購入した土産品を、訪問回数別にみると、はじめての来訪では「ガラス工芸品」が30.9%と最も多く、「菓子類」が26.3%、「海産物・珍味・加工品」が15.6%の順になっているが、訪問回数を重ねるに従い「菓子類」、「海産物・珍味・加工品」、「地酒・ワイン・ビール」が増加している。これは、道内外・外国人別にみても同じ傾向となっている。

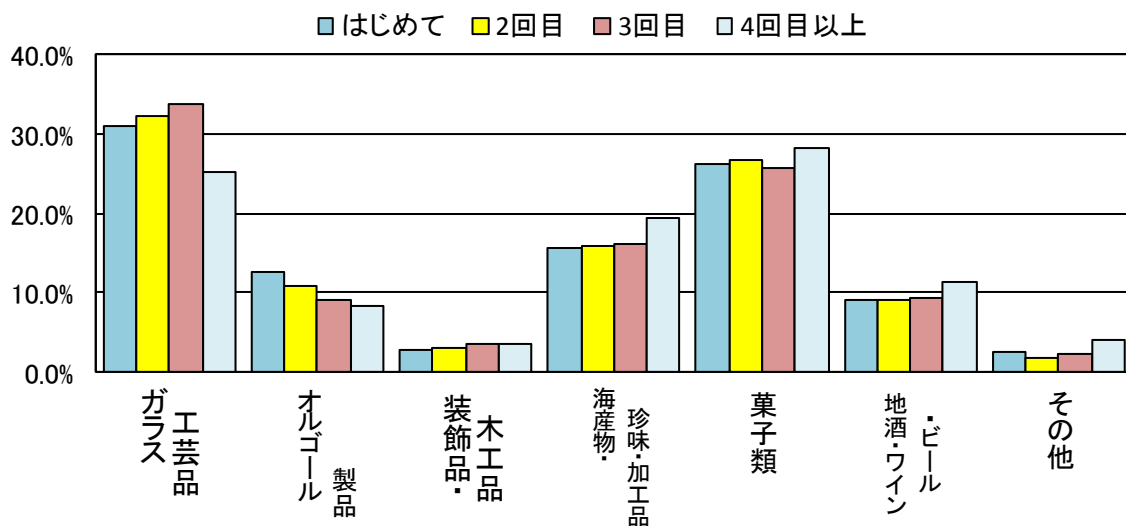
(2-表15-2) 訪問回数別土産品の内訳 <複数回答>

	(回答数)				
	はじめて	2回目	3回目	4回目以上	合計
ガラス工芸品	712	430	241	655	2,038
オルゴール製品	291	145	64	215	715
装飾品・木工品	63	41	26	93	223
海産物・珍味・加工品	359	214	115	503	1,191
菓子類	606	357	184	731	1,878
地酒・ワイン・ビール	212	123	67	294	696
その他	58	25	16	103	202
合計	2,301	1,335	713	2,594	6,943

	(構成比)				
	はじめて	2回目	3回目	4回目以上	合計
ガラス工芸品	30.9%	32.2%	33.8%	25.3%	29.4%
オルゴール製品	12.6%	10.9%	9.0%	8.3%	10.3%
装飾品・木工品	2.7%	3.1%	3.6%	3.6%	3.2%
海産物・珍味・加工品	15.6%	16.0%	16.1%	19.4%	17.2%
菓子類	26.3%	26.7%	25.8%	28.2%	27.0%
地酒・ワイン・ビール	9.2%	9.2%	9.4%	11.3%	10.0%
その他	2.5%	1.9%	2.2%	4.0%	2.9%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.1%

注) 数字は無回答を除く。

(2-図15-2) 訪問回数別土産品の内訳



③男女別

購入した土産品を、男女別にみると、男性は「ガラス工芸品」が29.8%と最も多く、次いで「菓子類」が23.6%、「海産物・珍味・加工品」が18.6%となっている。女性は「菓子類」が29.4%と最も多く、次いで「ガラス工芸品」が29.1%、「海産物・珍味・加工品」が16.1%となっている。

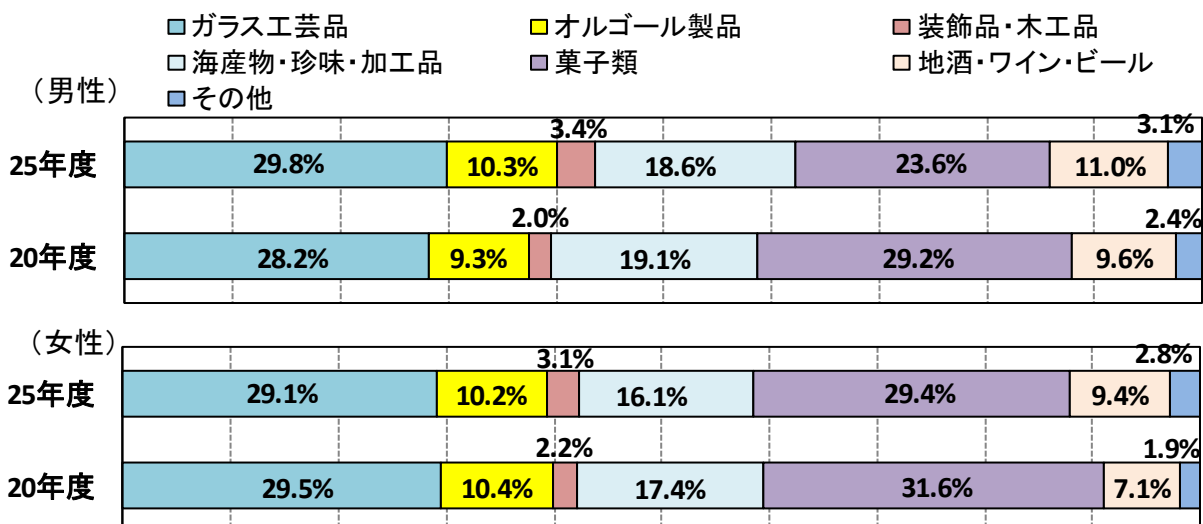
(2-表15-3) 男女別土産品の内訳〈複数回答〉

(回答数)

	平成25年度			平成20年度		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
ガラス工芸品	857	1,190	2,047	785	810	1,595
オルゴール製品	297	419	716	259	285	544
装飾品・木工品	98	126	224	57	60	117
海産物・珍味・加工品	535	659	1,194	532	477	1,009
菓子類	679	1,205	1,884	813	869	1,682
地酒・ワイン・ビール	317	383	700	268	194	462
その他	90	113	203	67	51	118
合計	2,873	4,095	6,968	2,781	2,746	5,527

注) 数字は無回答を除く。

(2-図15-3) 男女別土産品の内訳



(16) 一人当たりの平均観光消費金額

一人当たりの平均観光消費金額は、市内で宿泊しない場合は 16,342 円、市内で宿泊した場合は 37,657 円となった。平成 20 年度調査と比べると、市内で宿泊しない場合は 5,386 円、市内で宿泊した場合は 8,273 円の増となっている。

【参考】(前回調査)市内で宿泊しない場合 10,956 円

市内で宿泊した場合 29,384 円

費目別でみると、宿泊した場合の消費金額は、宿泊しない場合に比べて「土産品購入費」、「飲食費」で消費金額が大きくなっている。

(2-表16-1) 季節別宿泊有無別の一人当たり平均観光消費金額

(単位:円)

	春季		夏季		秋季		冬季		年間	
	宿泊無	宿泊有	宿泊無	宿泊有	宿泊無	宿泊有	宿泊無	宿泊有	宿泊無	宿泊有
市内宿泊費	-	14,218	-	13,821	-	11,285	-	10,043	-	12,464
市内交通費	2,561	3,709	2,733	3,624	2,897	3,881	1,792	3,171	2,435	3,554
土産品購入費	7,900	11,263	6,655	10,065	7,558	11,166	6,214	9,505	6,820	10,242
飲食費	4,523	8,419	4,311	7,983	3,736	6,514	4,209	7,031	4,220	7,555
うち(昼食)	3,365	4,169	3,771	4,148	3,166	3,660	2,946	3,199	3,361	3,820
うち(夕食等)	5,238	6,903	4,772	7,011	3,499	6,032	4,151	5,899	4,443	6,546
その他 ^{注)}	2,703	3,246	3,028	3,925	2,845	3,253	2,748	4,335	2,867	3,842
合計	17,687	40,855	16,727	39,418	17,036	36,099	14,963	34,085	16,342	37,657

注)「その他」には、「入場料・施設使用料」、「日用品・雑貨等」、「ゴルフ・スキー、制作体験料金」を含む。

【参考】

＜観光消費金額の調整について＞

本観光客動態調査サンプルによる道内外別観光消費金額の有効回答数の構成は、2-表 16-2 に示すとおりで、四季を通じて道内客と道外客の割合が直近の平成 25 年度観光入込客数調査結果と異なる。

このため、観光入込客数調査結果の道内外別構成比を基準として調整することとした。2-表 16-2 の①本調査でのサンプル構成(人)を、同表②の観光入込客数調査での道内外別構成比を基準として調整すると同表③調整後のサンプル数(人)となる。なお、今回初めて調査した外国人観光客については、観光入込客数調査でその割合を把握していないことと、サンプル数が道内客・道内外客と比べて少ないことから、道外客に含めて調整することとした。

本調査サンプルによる道内外・外国人別宿泊有無別の一人当たり平均観光消費金額(2-表 16-3)、及び季節別宿泊有無別の一人当たり平均観光消費金額(2-表 16-4)は、以下に示すとおりであるが、この結果は、2-表 16-2 の①に示すサンプル構成に基づく数値である。

2-表 16-6 において、季節別に調整前の総観光消費額(④)と調整後の総観光消費額(⑤)を求めて、その比率(⑤÷④)を「調整係数」とした。

この「調整係数」を2-表 16-4 の季節別宿泊有無別の一人当たり平均観光消費金額に乗じることとで、調整後の季節別宿泊有無別の一人当たり平均観光消費金額とした。(2-表 16-1)

(2-表16-2)本調査サンプル数と観光入込客数の構成比による調整

		春季 (4月,5月)	夏季 (6月～9月)	秋季 (10月,11月)	冬季 (12月～3月)
①本調査での サンプル構成(人)	道内容	644	401	491	260
	道外客	768	715	752	689
	うち道外客	747	685	723	663
	うち外国人 注2)	21	30	29	26
	合計	1,412	1,116	1,243	949
②観光入込客数 注1) 調査での構成比(%)	道内容	0.761	0.666	0.707	0.782
	道外客	0.239	0.334	0.293	0.218
③調整後の サンプル数(人)	道内容	1,075	743	879	742
	道外客	337	373	364	207

注1)「②観光客入込客数」は、平成25年4月から平成26年3月までの値である。

注2)「外国人」は、観光入込客数調査で把握できないので「道外客」に含めて算出した。

(2-表16-3)本調査サンプルによる道内外・外国人別宿泊有無別の一人当たり平均観光消費金額

(単位:円)

		小樽での宿泊無	小樽での宿泊有
道 内 客	市内宿泊費	－	11,644
	市内交通費	2,181	3,029
	土産品購入費	5,570	9,134
	飲食費	3,974	7,495
	うち(昼食)	3,127	3,619
	うち(夕食等)	3,760	6,666
	その他 注)	2,944	3,595
	合計	14,669	34,897
道 外 客	市内宿泊費	－	14,508
	市内交通費	3,375	4,581
	土産品購入費	8,833	13,176
	飲食費	5,109	8,693
	うち(昼食)	4,095	4,510
	うち(夕食等)	5,446	7,436
	その他 注)	3,442	4,565
	合計	20,759	45,522
外 国 人	市内宿泊費	－	19,854
	市内交通費	2,616	6,100
	土産品購入費	12,830	9,092
	飲食費	4,350	13,800
	うち(昼食)	2,400	9,333
	うち(夕食等)	3,731	12,167
	その他 注)	3,436	2,525
	合計	23,232	51,371

注)「その他」には、「入場料・施設使用料」、「日用品・雑貨等」、「ゴルフ・スキー、制作体験料金」を含む。

(2-表16-4) 本調査サンプルによる季節別宿泊有無別の一人当たり平均観光消費金額

(単位:円)

	春季		夏季		秋季		冬季		年間	
	宿泊無	宿泊有	宿泊無	宿泊有	宿泊無	宿泊有	宿泊無	宿泊有	宿泊無	宿泊有
市内宿泊費	-	15,539	-	15,255	-	12,293	-	11,691	-	13,731
市内交通費	2,799	4,054	3,017	3,999	3,156	4,228	2,087	3,692	2,829	3,972
土産品購入費	8,634	12,310	7,345	11,109	8,233	12,163	7,234	11,065	7,936	11,689
飲食費	4,943	9,201	4,758	8,811	4,070	7,096	4,900	8,186	4,644	8,305
うち(昼食)	3,678	4,557	4,162	4,578	3,448	3,987	3,429	3,724	3,694	4,207
うち(夕食等)	5,724	7,545	5,267	7,738	3,812	6,570	4,832	6,868	4,760	7,220
その他 ^{注)}	2,954	3,548	3,342	4,332	3,099	3,544	3,199	5,047	3,139	4,054
合計	19,330	44,652	18,462	43,506	18,558	39,324	17,420	39,681	18,548	41,751

注)「その他」には、「入場料・施設使用料」、「日用品・雑貨等」、「ゴルフ・スキー、制作体験料金」を含む。

(2-表16-5) 本調査サンプルによる季節別道内外・外国人別の一人当たり平均観光消費金額

(単位:円)

	春季			夏季			秋季			冬季		
	道内客	道外客	外国人	道内客	道外客	外国人	道内客	道外客	外国人	道内客	道外客	外国人
市内宿泊費	12,303	17,553	22,000	13,112	15,769	21,625	11,014	12,644	20,220	10,106	12,151	17,618
市内交通費	2,780	3,813	3,748	2,060	4,170	3,800	2,804	4,148	3,502	2,277	3,398	3,175
土産品購入費	7,961	11,911	13,300	6,353	9,788	10,438	6,663	11,016	11,144	6,678	9,486	12,220
飲食費	6,329	6,757	6,500	5,199	6,788	6,643	4,183	5,984	5,645	5,451	6,508	6,400
うち(昼食)	3,505	4,467	4,333	3,287	4,883	3,720	3,199	3,958	3,800	3,155	3,674	3,911
うち(夕食等)	6,548	7,581	7,250	5,745	7,776	7,000	5,145	5,724	5,417	5,813	6,866	6,500
その他 ^{注)}	3,193	3,176	3,000	3,054	4,487	2,500	3,393	3,029	3,020	2,730	4,955	4,075
合計	32,566	43,210	48,548	29,778	41,002	45,006	28,057	36,821	43,531	27,242	36,498	43,488

注)「その他」には、「入場料・施設使用料」、「日用品・雑貨等」、「ゴルフ・スキー、制作体験料金」を含む。

(2-表16-6)道内外構成の調整による観光消費額の「調整係数」の算出

		春季 (4月,5月)	夏季 (6月～9月)	秋季 (10月,11月)	冬季 (12月～3月)
①本調査での 平均消費額(円) 注1)	道内客	32,566	29,778	28,057	27,242
	道外客	43,301	41,093	36,883	36,754
	うち道外客	43,210	41,002	36,821	36,498
	うち外国人	48,548	45,006	43,531	43,488
②本調査での サンプル構成(人)	道内客	644	401	491	260
	道外客	768	715	752	689
	うち道外客	747	685	723	663
	うち外国人	21	30	29	26
③調整後の サンプル数(人)	道内客	1,075	743	879	742
	道外客 注2)	337	373	364	207
④本調査での 調整前の 総観光消費額(円) (①×②)	道内客	20,972,504	11,940,978	13,775,987	7,082,920
	道外客	33,255,168	29,381,495	27,736,016	25,323,506
	うち道外客	32,277,870	28,086,370	26,621,583	24,198,174
	うち外国人	1,019,508	1,350,180	1,262,399	1,130,688
	合計	54,227,672	41,322,473	41,512,003	32,406,426
⑤調整後の 総観光消費額(円) (①×③)	道内客	35,008,450	22,125,054	24,662,103	20,213,564
	道外客 注2)	14,592,437	15,327,689	13,425,412	7,608,078
	合計	49,600,887	37,452,743	38,087,515	27,821,642
⑥調整係数 (⑤合計÷④合計)		0.915	0.906	0.918	0.859

注1)①は、2-表16-5による。

注2)「外国人」は、観光入込客数調査で把握できないので「道外客」に含めて算出した。

（１７）電子マネー利用

初めて調査した電子マネー利用^{注)}の有無についてその割合をみると、外国人の利用率が最も高く15.7%、続いて道外客の13.1%、道内客は6.1%という結果になった。

注) 現金の代わりに、予めチャージまたは自動チャージしたカードで支払をすることができる電子決済サービスのこと。

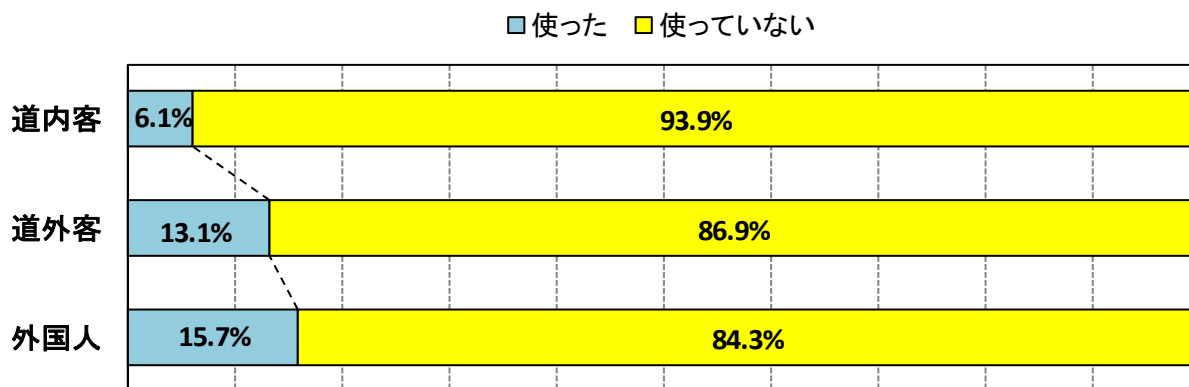
（２-表17-1）電子マネー利用の内訳

(単位:人)

	道内客	道外客	外国人	合計
使った	96	330	14	440
使っていない	1,486	2,182	75	3,743
合計	1,582	2,512	89	4,183

注) 数字は無回答を除く。

（２-図17-1）電子マネー利用の内訳



(18) 小樽再訪の意思

①道内外・外国人別

小樽への再訪意思を道内外・外国人別でみると、「来たい」と回答したのは道内客が最も高く95.4%で、続いて外国人が90.9%、道外客が89.2%となっている。平成20年度調査と比べると、「来たい」と回答した割合は道内客が1.8ポイント、道外客が4.1ポイント減少した。

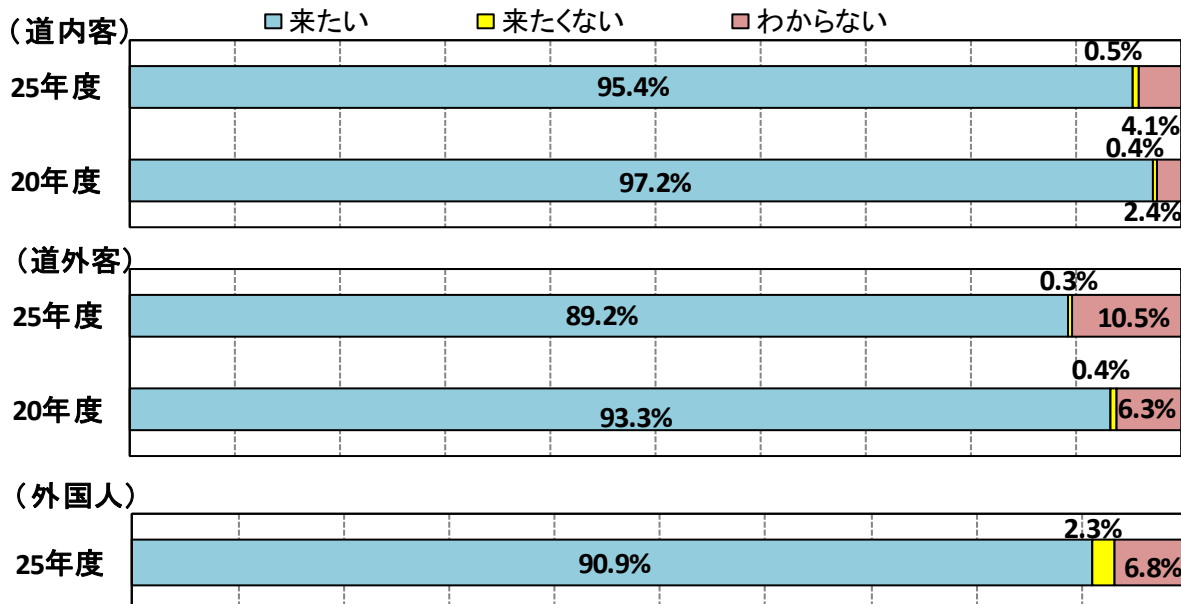
(2-表18-1)道内外・外国人別再訪意思の内訳

(単位:人)

	平成25年度				平成20年度		
	道内客	道外客	外国人	合計	道内客	道外客	合計
来たい	1,611	2,300	80	3,991	929	2,198	3,127
来たくない	8	7	2	17	4	10	14
わからない	70	271	6	347	23	148	171
合計	1,689	2,578	88	4,355	956	2,356	3,312

注) 数字は無回答を除く。

(2-表18-1)道内外・外国人別再訪意思の内訳



②男女別

小樽への再訪意思を男女別でみると、「来たい」と回答したのは男性が 90.8%で、女性が 92.4%と女性が男性の割合を 1.6 ポイント上回った。前回と比べると、男性が 3.7 ポイント、女性が 1.7 ポイント減少した。

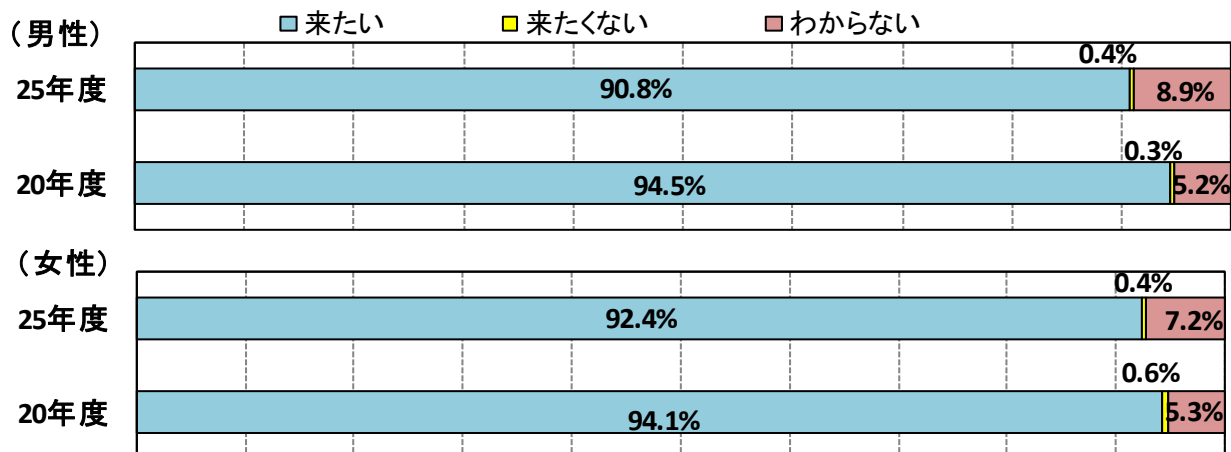
(2-表18-2) 男女別再訪意思の内訳

(単位: 人)

	平成25年度			平成20年度		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
来たい	1,764	2,232	3,996	1,653	1,490	3,143
来たくない	7	10	17	5	9	14
わからない	172	174	346	91	84	175
合計	1,943	2,416	4,359	1,749	1,583	3,332

注) 数字は無回答を除く。

(2-表18-2) 男女別再訪意思の内訳



(19) 満足度

道内外・外国人別の満足度をみると、「非常に満足」と「やや満足」をあわせると道内客・道外客外・外国人で約9割を超える高い結果となった。平成20年度調査と比べると道内客・道外客ともに「非常に満足」、「やや満足」をあわせた割合が減少した。季節別にみると、「非常に満足」と「やや満足」をあわせると、春季・夏季・秋季でその割合は減少したが、冬季は増加した。

(2-表19-1) 季節別道内外・外国人別満足度の内訳

(平成25年度)

(単位:人)

	春季			夏季			秋季		
	道内客	道外客	外国人	道内客	道外客	外国人	道内客	道外客	外国人
非常に満足	242	290	14	171	320	16	225	335	17
やや満足	283	290	5	182	273	13	203	285	5
どちらともいえない	63	67	-	32	44	-	26	46	-
やや不満	11	9	-	1	4	-	7	8	-
非常に不満	2	-	-	-	-	-	-	2	-
合計	601	656	19	386	641	29	461	676	22

	冬季			合計			計
	道内客	道外客	外国人	道内客	道外客	外国人	
非常に満足	118	325	15	756	1,270	62	2,088
やや満足	106	228	5	774	1,076	28	1,878
どちらともいえない	12	37	-	133	194	-	327
やや不満	3	3	-	22	24	-	46
非常に不満	-	1	-	2	3	-	5
合計	239	594	20	1,687	2,567	90	4,344

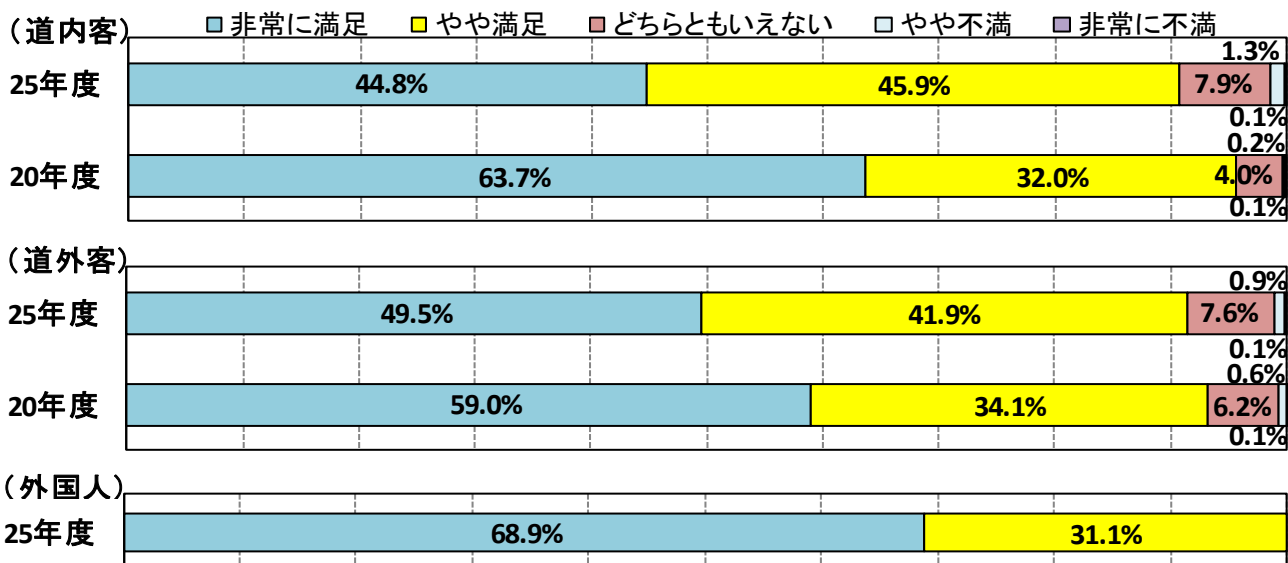
(平成20年度)

(単位:人)

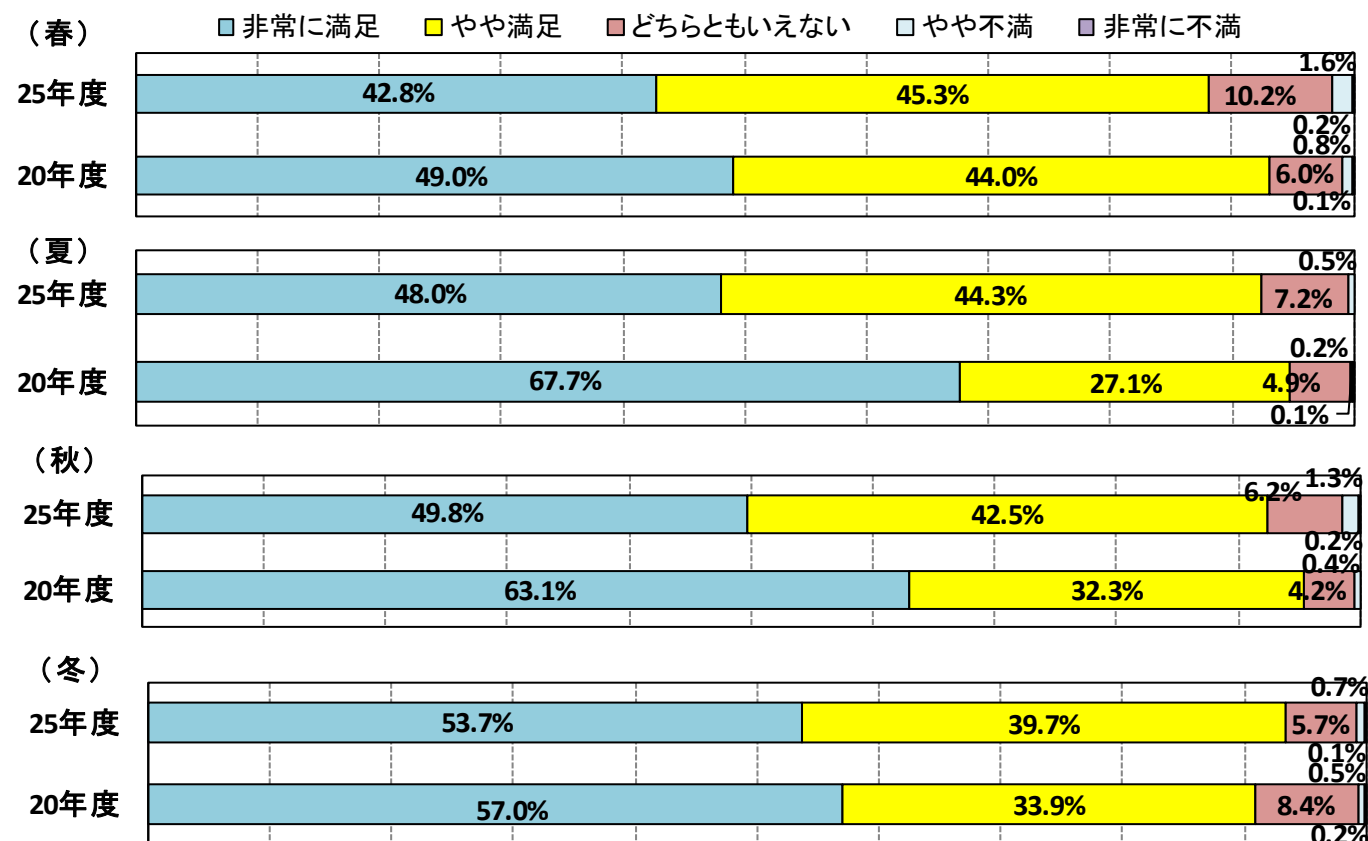
	春季		夏季		秋季		冬季		合計		
	道内客	道外客	道内客	道外客	道内客	道外客	道内客	道外客	道内客	道外客	計
非常に満足	115	246	198	515	210	379	85	248	608	1,388	1,996
やや満足	91	233	57	228	118	184	40	158	306	803	1,109
どちらともいえない	15	29	8	44	7	32	8	41	38	146	184
やや不満	1	5	-	2	-	4	1	2	2	13	15
非常に不満	-	1	-	1	-	-	1	-	1	2	3
合計	222	514	263	790	335	599	135	449	955	2,352	3,307

注)数字は無回答を除く。

(2-図19-1) 道内外・外国人別満足度の内訳



(2-図19-2) 季節別満足度の内訳

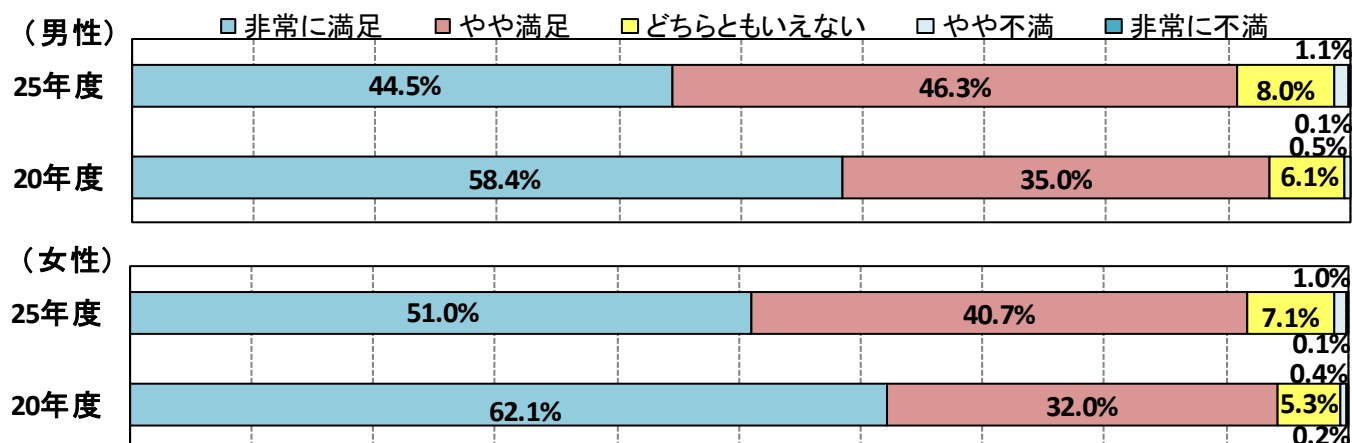


(2-表19-2) 男女別満足度の内訳 (単位: 人)

	平成25年度			平成20年度		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
非常に満足	863	1,228	2,091	1,020	981	2,001
やや満足	898	981	1,879	611	506	1,117
どちらともいえない	156	172	328	107	83	190
やや不満	22	24	46	9	6	15
非常に不満	2	3	5	-	3	3
合計	1,941	2,408	4,349	1,747	1,579	3,326

注) 数字は無回答を除く。

(2-図19-3) 男女別満足度の内訳



(20) 小樽の旅行中で、最も印象に残っていること

「景観・街並み」に対する回答が25.9%と最も多く、次いで「飲食」が20.0%、「施設」が13.4%の順で多かった。「景観・街並み」について主にあった回答は、運河や歴史的建造物、海、山といった自然についての回答が多かった。「飲食」については、寿司などの海産物料理と回答することが多く、その他若鶏の半身揚げやソフトクリームなどの回答があった。「施設」については、おたる水族館のペンギンショーなどの動物とのふれあいや天狗山のスライダーなどの自然を使ったアトラクションに関する回答が多かった。

(2-表20-1) 最も印象に残っていることの内訳

(回答数)

分類	件数					構成比	主な回答
	春季	夏季	秋季	冬季	合計		
景観・街並み	148	187	188	115	638	25.9%	運河がきれいだった。
							歴史的建造物などの古い街並みが魅力的だった。
							JRの車窓からの景色がきれい(海)
							天狗山からの景色が素晴らしい。
							坂が多い。
接客・対応	30	20	40	23	113	4.6%	人が優しくかった。
							マナーがあつてフレンドリーな人々だった。
							気軽に写真をとってくれる。
							販売員が仕事熱心で、親切さと満足を感じました。
							ホテルの接客が良く、雨が降っていたとき傘を貸してくれた。
施設	99	113	85	32	329	13.4%	おたる水族館のペンギンショーや海獣たちがかわいかった。
							天狗山のロープウェイ、リス公園、スライダーが良かった。
							貴賓館がすごく雰囲気が良くて印象に残った。
							石原裕次郎記念館が楽しかった。
							金融資料館にて1億円の重さを体験したこと。
イベント	1	3	0	9	13	0.5%	潮まつり
							浅草橋オールディーズライブを偶然観ることができて良かった。
							雪あかりの路
							雛めぐりのお雛様がきれいでした。今後も続けてください。
飲食	109	126	141	115	491	20.0%	寿司がおいしかった。
							あんかけ焼そばの味比べを行ったこと。
							海産物(にしん、うに、いくらなど)がおいしかった。
							ソフトクリームがおいしかった。(6段ソフトクリームなど)
							若鶏の半身揚げがおいしかった。
土産・土産店	39	70	64	45	218	8.9%	かまぼこがおいしかった。
							オルゴールが好きなのでオルゴール堂が印象に残った。
							ガラス製品がきれいだった。
							土産物の店の多さが良かった。
							お菓子の名産が多い。
宿泊	17	9	20	25	71	2.9%	ホテルからの景色が良かった。
							接客が良く、印象がとても良かった。
							露天風呂が良かった。
							料理がおいしかった。(海産物料理やフレンチ)
							宿泊したところが安く、とてもきれいな部屋だった。
その他	171	116	115	186	588	23.9%	悪天候だったため、いろいろ回れなかった。
							GWなのに雪がまだ残っていたこと。
							雪が多いが、きれいだった。
							運河クルーズが良く、スタッフの説明もわかりやすかった。
							人力車での観光が楽しかった。
合計	614	644	653	550	2,461	100.0%	

(21) 小樽に対する感想・意見

好意的な意見が 52.1%、感想・提言的意見が 32.1%、批判的意見が 15.8%という結果になった。

好意的意見では、「景観や歴史的建造物」に対する意見が多く、批判的意見では「交通」、「飲食」、「土産」の順が多かった。また、感想・提言的意見では、「景観や歴史的建造物」に対する意見が多かった。

(2-表21-1) 小樽に対する感想・意見の内訳

評価	分類	件数					(回答数)	
		春季	夏季	秋季	冬季	合計	対総計 構成比	区分内 構成比
1 好意的	1 景観・歴建	39	62	44	49	194	15.7%	30.1%
	2 接客・対応	14	13	3	12	42	3.4%	6.5%
	3 飲食	13	13	13	20	59	4.8%	9.1%
	4 土産	4	9	4	6	23	1.9%	3.6%
	5 交通	1	8	1	5	15	1.2%	2.3%
	6 観光・宿泊施設	8	3	6	1	18	1.5%	2.8%
	7 公共施設	2	2	—	—	4	0.3%	0.6%
	8 その他	66	83	85	56	290	23.4%	45.0%
	小計	147	193	156	149	645	52.1%	100.0%
2 批判的	1 景観・歴建	1	7	4	3	15	1.2%	7.7%
	2 接客・対応	4	4	3	1	12	1.0%	6.1%
	3 飲食	5	10	8	8	31	2.5%	15.8%
	4 土産	9	5	10	7	31	2.5%	15.8%
	5 交通	22	13	12	11	58	4.7%	29.6%
	6 観光・宿泊施設	2	4	4	2	12	1.0%	6.1%
	7 公共施設	—	4	3	—	7	0.6%	3.6%
	8 その他	8	8	12	2	30	2.4%	15.3%
	小計	51	55	56	34	196	15.8%	100.0%
3 感想・提言的	1 景観・歴建	15	9	14	3	41	3.3%	10.3%
	2 接客・対応	—	3	3	—	6	0.5%	1.5%
	3 飲食	7	7	7	1	22	1.8%	5.5%
	4 土産	5	4	6	2	17	1.4%	4.3%
	5 交通	10	11	11	4	36	2.9%	9.1%
	6 観光・宿泊施設	1	10	3	8	22	1.8%	5.5%
	7 公共施設	1	3	—	—	4	0.3%	1.0%
	8 その他	81	50	56	62	249	20.1%	62.7%
	小計	120	97	100	80	397	32.1%	100.0%
総計	1 景観・歴建	55	78	62	55	250	20.2%	20.2%
	2 接客・対応	18	20	9	13	60	4.8%	4.8%
	3 飲食	25	30	28	29	112	9.0%	9.0%
	4 土産	18	18	20	15	71	5.7%	5.7%
	5 交通	33	32	24	20	109	8.8%	8.8%
	6 観光・宿泊施設	11	17	13	11	52	4.2%	4.2%
	7 公共施設	3	9	3	—	15	1.2%	1.2%
	8 その他	155	141	153	120	569	46.0%	46.0%
	小計	318	345	312	263	1,238	100.0%	100.0%

(2-表21-2) 小樽に対する感想・意見における評価区分別の代表的な自由回答内容

評価区分	自由回答内容
1. 好意的	・ 小樽は大好きです。新しい建物でなく古い建物をそのまま使い雰囲気の良い街並みが何度でも来たくなり飽きません。 ・ カメラマンにとっては様々な被写体があふれています。何度でも来たいです。 ・ 初めて来たのですが、海があり、運河があり、坂があり…とてもすてきな町だなと思いました。 ・ 国際観光都市としてのインフラはかなり充実していると思います。自然と都市のバランスが程よくとれています。 ・ オルゴールやガラス製品等名産品もたくさんあり、海産物等の食事也非常においしくとても良いところだと思う。 ・ 水が美味しい。 ・ 見所が比較的コンパクトにまとまっていて、歩き易いです。 ・ 道や場所を聞いても、みんな非常に親切に教えてくれる。 ・ 観光案内所で大きい傘を貸していただいて助かりました。 ・ 札幌から近いのでとても来やすい。 ・ 何度も訪れたい観光地No1です！！これから色々な企画たのしみにしています。何もなくても満足出来る小樽です！！ ・ 道や場所を聞いても、みんな非常に親切に教えてくれる。 ・ 散策バスが便利
2. 批判的	・ 運河にゴミが浮いているのが残念 ・ 運河通り沿いののぼりが立ち並ぶ雑然とした景観にがっかりします。 ・ 寿司屋以外の飲食店があまりない。地元の居酒屋などが分かりづらい。 ・ 堺町周辺のお店の閉店時間が早すぎるので、ゆっくり買い物ができない。 ・ バスがやや分かりづらい。 ・ 運河のあたりを見て歩きたいが駐車場がいつも混んでいてあきらめて帰ることが多い。 ・ 冬季間の除雪をもっとやってほしい。雪道を歩くのが困難だ。 ・ トイレ探しに困る。 ・ 授乳できるところが少なすぎてこまる。 ・ 観光案内所がどこにあるのか分かりづらい。 ・ 夜がけっこう暗い感じ。街に活気がないような気がしました。 ・ 食べ物が高いですね。 ・ 道路標識の不足を感じた。
3. 感想・提言	・ 高速バス(札幌—小樽)の運河経由 ・ タクシー代が安いので、そこをもっとPRした方が良いと思う。 ・ 堺町通り周辺にも一日止められる駐車場、ほしいです。 ・ 地図に弱い方のため、駅前に主要な観光地への行き方がわかるものがあつたほうが良いと思う。 ・ たばこを吸えるところを増やして。 ・ もう少し歴史が分かるような本とかパンフレットがあるといいと思います。 ・ パンフレットは充実している。しかし、もしもっと(観光協会)ウェブサイトを更新すると良いと思う。 ・ 素晴らしい街であり、更なるアピールをされたいかと思ひます。 ・ 小樽の雰囲気をこれからも大切にしてほしいです。 ・ 堺町周辺のマイカー乗り入れを禁止にした方がよいと思う。スピード超過の車が何台か通行して危ないと思いました。 ・ 小樽に住んでいる人との交流ができればうれしい。(お話をききたい) ・ 小樽水族館の入り口の階段がきつい。エスカレーターにしたらどうでしょうか。 ・ 北—ガラスの通り以外にも賑やかな所があればいいと思いました。

3 観光総消費額

年間観光総消費額

小樽市内の季節別観光入込客数(宿泊・日帰り客別)に基づき推計対象観光客数を算出し、季節別観光客一人当たり平均消費額(宿泊・日帰り客別)を乗ずる方法により推計したところ、小樽市の平成25年度における年間観光総消費額は1,255億円と推計された。

なお、過年度の推計額の推移は、平成20年度が839億円、平成15～16年度が1,319億円、平成12年度が1,351億円、平成11年度が1,592億円、平成7年度が455億円となっている。

また、年間観光総消費額の推計結果に基づく、平成25年度の観光客一人当たりの平均消費額は、18,355円となり、平成20年度調査と比べると5,615円増となった。

(3-表1-1)消費額算定対象とする観光入込客数

	春季 (4月, 5月)	夏季 (6月～9月)	秋季 (10月, 11月)	冬季 (12月～3月)	年間
①平成25年度観光入込客数	918 千人	3,001 千人	1,044 千人	2,145 千人	7,108 千人
②平成25年度推定観光客数 注1)	918 千人	2,732 千人	1,044 千人	2,145 千人	6,839 千人
③宿泊客数	84 千人	288 千人	101 千人	173 千人	646 千人
④推定された日帰り客数 注2)	835 千人	2,444 千人	943 千人	1,972 千人	6,193 千人

注1)平成25年度推定観光客数は、平成25年度観光入込客数から、海水浴客数(年間)を除いて算出した。

注2)推定された日帰り客数は、②平成25年度推定観光客数から③宿泊客数を除いたものである。

(3-表1-2)年間観光総消費額の推計結果

	春季 (4月, 5月)	夏季 (6月～9月)	秋季 (10月, 11月)	冬季 (12月～3月)	年間
⑤宿泊客一人当たり平均消費額 (円/人) 注1)	40,855	39,418	36,099	34,085	37,657
⑥日帰り客一人当たり平均消費額 (円/人) 注1)	17,687	16,727	17,036	14,963	16,342
⑦宿泊客総消費額(千円) 注2)	3,415,478	11,364,209	3,649,609	5,893,297	24,322,656
⑧日帰り客総消費額(千円) 注2)	14,763,339	40,880,554	16,061,541	29,501,051	101,207,411
⑨観光総消費額(千円) 注2)	18,178,817	52,244,763	19,711,150	35,394,347	125,530,068

注1)⑤、⑥は、(2-表16-1)による。

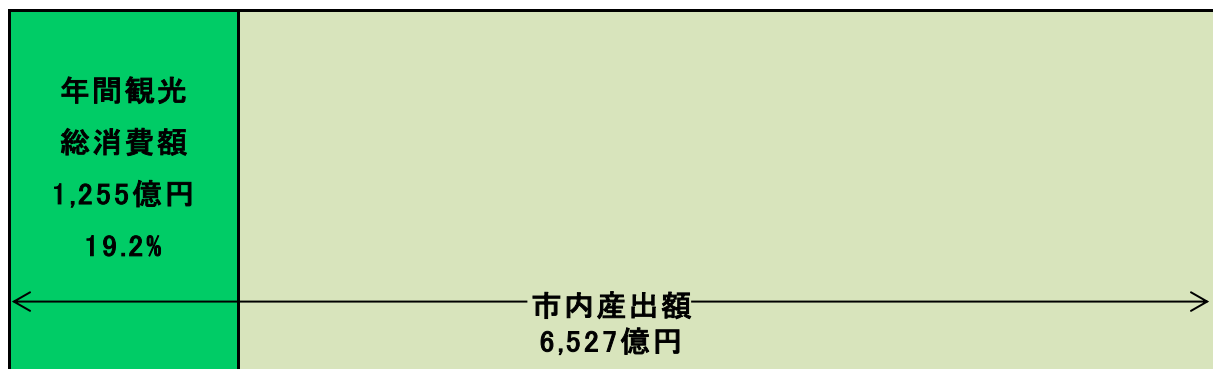
注2)⑦=③×⑤、⑧=④×⑥、⑨=⑦+⑧であり、年間はそれぞれの四季計である。

(3-表1-3) 小樽市の観光客一人当たり平均消費額推移

	観光客一人当たり 平均消費額(円)	年間観光入込客数 ^{注)} (千人)	年間観光総消費額 (億円)
平成25年度	18,355	6,839	1,255
平成20年度	12,740	6,584	839
平成15～16年度	18,308	7,207	1,319
平成12年度	17,272	7,822	1,351
平成11年度	17,872	8,907	1,592
平成7年度	10,840	4,197	455
平成5年度	12,276	3,873	475
平成2年度	6,987	2,374	166

注)年間観光入込客数は、「海水浴客数」を除いた推定観光客数である。

【参考】市内産出額に占める年間観光総消費額(＝観光客に関する売上高)



注)市内産出額は、平成22年度市民経済計算による。

資 料

アンケート単純集計表

(回答人数は、無回答を除く)

Q1 性別

	回答人数	構成比
(1) 男性	2,102	44.5%
(2) 女性	2,620	55.5%
合計	4,722	100%

道内客		道外客		外国人	
回答人数	構成比	回答人数	構成比	回答人数	構成比
763	42.8%	1,298	46.2%	35	33.3%
1,021	57.2%	1,514	53.8%	70	66.7%
1,784	100.0%	2,812	100.0%	105	100.0%

Q2 年齢

	回答人数	構成比
(1) 10代	272	5.8%
(2) 20代	1,069	22.7%
(3) 30代	892	19.0%
(4) 40代	903	19.2%
(5) 50代	750	15.9%
(6) 60代	601	12.8%
(7) 70代以上	217	4.6%
合計	4,704	100.0%

道内客		道外客		外国人	
回答人数	構成比	回答人数	構成比	回答人数	構成比
142	8.0%	127	4.5%	2	1.9%
340	19.1%	676	24.2%	46	43.8%
370	20.8%	488	17.4%	32	30.5%
341	19.1%	544	19.4%	15	14.3%
260	14.6%	479	17.1%	6	5.7%
218	12.2%	381	13.6%	2	1.9%
110	6.2%	103	3.7%	2	1.9%
1,781	100.0%	2,798	100.0%	105	100.0%

Q3 お住まいの地域

	回答人数	構成比
(1) 日本	4,637	97.8%
(2) 海外	106	2.2%
合計	4,743	100.0%

	回答人数	構成比
(1) 道内客	1,796	38.9%
(2) 道外客	2,818	61.1%
合計	4,614	100.0%

①道内客の内訳

	回答人数	構成比
(1) 札幌	868	51.6%
(2) 道央	453	26.9%
(3) 道北	143	8.5%
(4) 道南	71	4.2%
(5) 釧路・根室	62	3.7%
(6) 十勝	56	3.3%
(7) オホーツク	28	1.7%
合計	1,681	100.0%

②道外客の内訳

	回答人数	構成比
(1) 東北	234	8.5%
(2) 東京	518	18.9%
(3) 関東	798	29.1%
(4) 中部	393	14.4%
(5) 近畿	524	19.1%
(6) 中国	83	3.0%
(7) 四国	41	1.5%
(8) 九州	147	5.4%
合計	2,738	100.0%

Q4 小樽においでになったのは、何回目ですか？

	回答人数	構成比
(1) 初めて	1,550	33.1%
(2) 2回目	890	19.0%
(3) 3回目	477	10.2%
(4) 4回目以上	1,771	37.8%
合計	4,688	100.0%

道内客		道外客		外国人	
回答人数	構成比	回答人数	構成比	回答人数	構成比
121	6.9%	1,348	48.0%	75	72.8%
177	10.1%	693	24.7%	14	13.6%
171	9.7%	296	10.5%	7	6.8%
1,292	73.4%	470	16.7%	7	6.8%
1,761	100.0%	2,807	100.0%	103	100.0%

Q5 どなたと何人でおいでになりましたか？

	回答人数	構成比
(1) 一人	375	8.0%
(2) 夫婦・カップル	1,378	29.2%
(3) 家族・親戚	1,672	35.5%
(4) 友人	1,017	21.6%
(5) 職場や地域の仲間	224	4.8%
(6) その他	48	1.0%
合計	4,714	100.0%

道内客		道外客		外国人	
回答人数	構成比	回答人数	構成比	回答人数	構成比
116	6.5%	232	8.3%	25	24.3%
450	25.3%	906	32.2%	18	17.5%
772	43.3%	871	31.0%	24	23.3%
378	21.2%	601	21.4%	32	31.1%
56	3.1%	165	5.9%	2	1.9%
10	0.6%	36	1.3%	2	1.9%
1,782	100.0%	2,811	100.0%	103	100.0%

Q6 旅行形態はどれですか？

	回答人数	構成比
(1) 個人旅行	3,129	67.2%
(2) フリープラン	968	20.8%
(3) パッケージプラン	143	3.1%
(4) 職場などの団体旅行	136	2.9%
(5) その他	278	6.0%
合計	4,654	100.0%

道内客		道外客		外国人	
回答人数	構成比	回答人数	構成比	回答人数	構成比
1,424	82.1%	1,598	57.1%	92	91.1%
57	3.3%	900	32.2%	7	6.9%
16	0.9%	125	4.5%	1	1.0%
39	2.2%	96	3.4%	-	-
199	11.5%	78	2.8%	1	1.0%
1,735	100.0%	2,797	100.0%	101	100.0%

Q7 旅行目的は、どれですか？(複数回答)

	回答数	構成比
(1) 運河と歴史的景観	2,342	25.4%
(2) 文学・美術	214	2.3%
(3) 自然	832	9.0%
(4) ガラス・オルゴール	1,493	16.2%
(5) 食べ物(鮎・スイーツなど)	2,675	29.0%
(6) 温泉	552	6.0%
(7) マリンレジャー	425	4.6%
(8) ウィンタースポーツ	77	0.8%
(9) イベント、お祭り	145	1.6%
(10) その他	479	5.2%
合計	9,234	100.0%

道内客		道外客		外国人	
回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
570	17.9%	1,690	29.4%	72	27.9%
88	2.8%	114	2.0%	10	3.9%
274	8.6%	512	8.9%	43	16.7%
520	16.3%	927	16.1%	44	17.1%
862	27.0%	1,752	30.5%	51	19.8%
217	6.8%	314	5.5%	20	7.8%
349	10.9%	73	1.3%	-	-
7	0.2%	65	1.1%	5	1.9%
63	2.0%	69	1.2%	11	4.3%
240	7.5%	237	4.1%	2	0.8%
3,190	100.0%	5,753	100.0%	258	100.0%

Q8 小樽を選ばれた観光情報の入手先は、どれですか？(複数回答)

	回答数	構成比
(1) ガイドブック・パンフレット・ポスター	1,955	33.1%
(2) 新聞・雑誌等	412	7.0%
(3) テレビ・ラジオ	292	4.9%
(4) 口コミ	578	9.8%
(5) インターネット・ホームページ(携帯電話を含む。)	966	16.4%
(6) SNS(facebook、twitter、mixiなど)	63	1.1%
(7) 以前に来た時の体験・感想	1,275	21.6%
(8) その他	359	6.1%
合計	5,900	100.0%

道内客		道外客		外国人	
回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
376	17.8%	1,528	42.2%	44	28.9%
187	8.9%	216	6.0%	6	3.9%
124	5.9%	163	4.5%	3	2.0%
221	10.5%	331	9.2%	23	15.1%
312	14.8%	600	16.6%	52	34.2%
15	0.7%	40	1.1%	8	5.3%
692	32.8%	566	15.6%	11	7.2%
180	8.5%	173	4.8%	5	3.3%
2,107	100.0%	3,617	100.0%	152	100.0%

Q9 小樽での宿泊日数、若しくは滞在時間は、どの程度を予定されていますか？

	回答人数	構成比
(1) 日帰り	2,987	64.7%
(2) 小樽に1泊	1,322	28.6%
(3) 小樽に2泊	197	4.3%
(4) 小樽に3泊以上	112	2.4%
合計	4,618	100.0%

道内客		道外客		外国人	
回答人数	構成比	回答人数	構成比	回答人数	構成比
1,194	68.8%	1,709	61.8%	72	72.0%
475	27.4%	820	29.7%	21	21.0%
47	2.7%	146	5.3%	4	4.0%
19	1.1%	90	3.3%	3	3.0%
1,735	100.0%	2,765	100.0%	100	100.0%

※小樽での滞在時間(日帰り観光客)

4.9時間

(道内客 5.2時間、道外客 4.6時間、外国人 7.2時間)

平成20年度調査

4.4時間

(道内客 4.7時間、道外客 4.2時間)

Q10-1 小樽の前に立ち寄った観光地

	回答人数	構成比
(1) 立寄りあり	2,136	53.0%
(2) 立寄りなし	1,896	47.0%
合計	4,032	100.0%

立寄りの多い上位5位

	回答人数	構成比
1 札幌	1,248	58.4%
2 函館	162	7.6%
3 旭川	156	7.3%
4 富良野・美瑛	100	4.7%
5 登別	64	3.0%
その他	406	19.0%
合計	2,136	100.0%

道内客		道外客		外国人	
回答人数	構成比	回答人数	構成比	回答人数	構成比
269	18.6%	1,794	72.4%	66	69.5%
1,174	81.4%	684	27.6%	29	30.5%
1,443	100.0%	2,478	100.0%	95	100.0%

道内客		道外客		外国人	
回答人数	構成比	回答人数	構成比	回答人数	構成比
126	46.8%	1,081	60.3%	37	56.1%
6	2.2%	148	8.2%	8	12.1%
12	4.5%	144	8.0%	-	-
2	0.7%	90	5.0%	8	12.1%
2	0.7%	59	3.3%	3	4.5%
121	45.0%	272	15.2%	10	15.2%
269	100.0%	1,794	100.0%	66	100.0%

Q10-2 小樽の後に立ち寄る予定の観光地

	回答人数	構成比
(1) 立寄りあり	1,470	38.8%
(2) 立寄りなし	2,315	61.2%
合計	3,785	100.0%

立寄りの多い上位5位

	回答人数	構成比
1 札幌	763	51.9%
2 函館	121	8.2%
3 旭川	112	7.6%
4 ニセコ	95	6.5%
5 余市	75	5.1%
その他	304	20.7%
合計	1,470	100.0%

道内客		道外客		外国人	
回答人数	構成比	回答人数	構成比	回答人数	構成比
220	15.4%	1,188	52.8%	56	62.9%
1,212	84.6%	1,061	47.2%	33	37.1%
1,432	100.0%	2,249	100.0%	89	100.0%

道内客		道外客		外国人	
回答人数	構成比	回答人数	構成比	回答人数	構成比
113	51.4%	619	52.1%	29	51.8%
6	2.7%	107	9.0%	7	12.5%
5	2.3%	106	8.9%	1	1.8%
20	9.1%	73	6.1%	2	3.6%
32	14.5%	41	3.5%	-	-
44	20.0%	242	20.4%	17	30.4%
220	100.0%	1,188	100.0%	56	100.0%

Q11 小樽で回られる観光ゾーンを教えてください。(複数回答)

	回答数	構成比
(1) 祝津・オタモイ地区	1,052	10.1%
(2) 小樽駅周辺地区	2,547	24.4%
(3) 運河(浅草橋街園)周辺地区	3,582	34.3%
(4) 堺町周辺地区	1,643	15.8%
(5) 築港周辺地区	727	7.0%
(6) 天狗山地区	532	5.1%
(7) 朝里川温泉地区	347	3.3%
合計	10,430	100.0%

道内客		道外客		外国人	
回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
680	17.2%	338	5.5%	28	8.8%
814	20.6%	1,654	27.1%	67	21.0%
1,156	29.3%	2,314	37.8%	95	29.8%
507	12.8%	1,087	17.8%	44	13.8%
307	7.8%	381	6.2%	34	10.7%
264	6.7%	234	3.8%	32	10.0%
221	5.6%	106	1.7%	19	6.0%
3,949	100.0%	6,114	100.0%	319	100.0%

Q12 小樽へお出でになる際、御利用になった交通機関はどれですか？

	回答人数	構成比
(1) JR	2,327	49.8%
(2) フェリー	84	1.8%
(3) 路線バス(都市間高速バスを含む。)	171	3.7%
(4) 定期観光バス	53	1.1%
(5) 貸切バス	162	3.5%
(6) タクシー	38	0.8%
(7) レンタカー	605	13.0%
(8) 自家用車・バイク	1,219	26.1%
(9) その他	11	0.2%
合計	4,670	100.0%

道内客		道外客		外国人	
回答人数	構成比	回答人数	構成比	回答人数	構成比
569	32.1%	1,653	59.5%	88	88.9%
-	-	84	3.0%	-	-
83	4.7%	87	3.1%	-	-
2	0.1%	47	1.7%	4	4.0%
25	1.4%	135	4.9%	2	2.0%
9	0.5%	29	1.0%	-	-
19	1.1%	580	20.9%	2	2.0%
1,060	59.9%	157	5.6%	2	2.0%
3	0.2%	7	0.3%	1	1.0%
1,770	100.0%	2,779	100.0%	99	100.0%

Q13 小樽市内で御利用になる主な交通機関はどれですか？(複数回答)

	回答数	構成比	道内客		道外客		外国人	
			回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
(1) 路線バス(都市間高速バスを含む。)	734	13.3%	264	12.9%	447	13.5%	14	11.9%
(2) 定期観光バス	126	2.3%	32	1.6%	88	2.7%	5	4.2%
(3) 貸切バス	94	1.7%	19	0.9%	72	2.2%	3	2.5%
(4) 観光タクシー	99	1.8%	23	1.1%	75	2.3%	1	0.8%
(5) 一般タクシー	291	5.3%	80	3.9%	204	6.2%	4	3.4%
(6) JR	333	6.0%	127	6.2%	185	5.6%	17	14.4%
(7) 自家用車・バイク	887	16.1%	720	35.1%	164	5.0%	3	2.5%
(8) レンタカー	472	8.6%	26	1.3%	438	13.2%	4	3.4%
(9) 貸し自転車	16	0.3%	3	0.1%	13	0.4%	-	-
(10) 徒歩	2,428	44.1%	748	36.4%	1,602	48.5%	67	56.8%
(11) その他	30	0.5%	12	0.6%	18	0.5%	-	-
合計	5,510	100.0%	2,054	100.0%	3,306	100.0%	118	100.0%

Q14 どの様な夜の観光を小樽でされましたか？(複数回答)

	回答数	構成比	道内客		道外客		外国人	
			回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
(1) 街なか散策(ライトアップ施設を含む。)	944	15.7%	302	13.9%	611	16.6%	25	18.0%
(2) 運河散策	1,552	25.8%	498	23.0%	989	26.9%	52	37.4%
(3) 夜景観賞	295	4.9%	117	5.4%	164	4.5%	13	9.4%
(4) 飲食店・居酒屋など	1,059	17.6%	400	18.4%	641	17.4%	11	7.9%
(5) その他	98	1.6%	49	2.3%	46	1.3%	2	1.4%
(6) 夜の観光はしない	2,072	34.4%	803	37.0%	1,228	33.4%	36	25.9%
合計	6,020	100.0%	2,169	100.0%	3,679	100.0%	139	100.0%

Q15 小樽のお土産は、何をお買い求めですか？(複数回答)

	回答数	構成比	道内客		道外客		外国人	
			回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
(1) ガラス工芸品	2,054	29.3%	628	25.4%	1,365	31.6%	50	28.4%
(2) オルゴール製品	720	10.3%	213	8.6%	466	10.8%	38	21.6%
(3) 装飾品・木工品	226	3.2%	95	3.8%	118	2.7%	12	6.8%
(4) 海産物・珍味・加工品	1,203	17.2%	448	18.1%	726	16.8%	24	13.6%
(5) 菓子類	1,892	27.0%	716	28.9%	1,133	26.2%	34	19.3%
(6) 地酒・ワイン・ビール	701	10.0%	275	11.1%	415	9.6%	10	5.7%
(7) その他	205	2.9%	101	4.1%	95	2.2%	8	4.5%
合計	7,001	100.0%	2,476	100.0%	4,318	100.0%	176	100.0%

Q16 パック料金の平均額

※一人当たりの平均額

60,676 円

Q17 小樽での消費額について

※一人当たりの平均消費額

- ・ 市内に宿泊した場合 37,657 円
- ・ 市内に宿泊しない場合 16,342 円

参考

平成20年度調査

- ・ 市内に宿泊した場合 29,384 円
- ・ 市内に宿泊しない場合 10,956 円

Q18 小樽市内で電子マネーをお使いになりましたか？

	回答人数	構成比
(1) 使った	443	10.5%
(2) 使っていない	3,759	89.5%
合計	4,202	100.0%

道内客		道外客		外国人	
回答人数	構成比	回答人数	構成比	回答人数	構成比
96	6.1%	330	13.1%	14	15.7%
1,486	93.9%	2,182	86.9%	75	84.3%
1,582	100.0%	2,512	100.0%	89	100.0%

Q19 小樽に対する満足度は、どの程度でしたか？

	回答人数	構成比
(1) 非常に満足	2,098	48.0%
(2) やや満足	1,889	43.3%
(3) どちらともいえない	329	7.5%
(4) やや不満	46	1.1%
(5) 非常に不満	5	0.1%
合計	4,367	100.0%

道内客		道外客		外国人	
回答人数	構成比	回答人数	構成比	回答人数	構成比
756	44.8%	1,270	49.5%	62	68.9%
774	45.9%	1,077	41.9%	28	31.1%
133	7.9%	194	7.6%	-	-
22	1.3%	24	0.9%	-	-
2	0.1%	3	0.1%	-	-
1,687	100.0%	2,568	100.0%	90	100.0%

Q20 今後、また小樽へ来たいと思いますか？

	回答人数	構成比
(1) 来たい	4,012	91.7%
(2) 来たくない	17	0.4%
(3) わからない	347	7.9%
合計	4,376	100.0%

道内客		道外客		外国人	
回答人数	構成比	回答人数	構成比	回答人数	構成比
1,611	95.4%	2,300	89.2%	80	90.9%
8	0.5%	7	0.3%	2	2.3%
70	4.1%	271	10.5%	6	6.8%
1,689	100.0%	2,578	100.0%	88	100.0%

小樽市観光客動態調査報告書

平成 27 年 3 月発行

発行・編集 小樽市 産業港湾部 観光振興室

小樽市花園 2 丁目 12 番 1 号

電話 (0134) 32-4111

内線 450

<http://www.city.otaru.lg.jp/>